

妙正寺川整備工事 (オリーブ橋上流～八幡橋下流区間) についての説明会

日時：令和4年5月10日（火）

19：00～20：30

会場：中野区鷺宮区民活動センター 3F

東京都第三建設事務所

大豊建設株式会社

妙正寺川の整備について

東京都第三建設事務所

妙正寺川における過去の代表的な水害

■平成17年9月の豪雨

妙正寺川、善福寺川上流部を中心に、9月4日夕方から5日未明にかけて時間最大100mm以上の激しい雨が降り、杉並区、中野区、新宿区で**浸水家屋3,000戸以上の甚大な被害**が発生。

- ・総雨量 : 263mm (下井草観測所・杉並区)
- ・時間最大雨量: 112mm/h (下井草観測所・杉並区)



浸水棟数 1,417棟(江古田川を含む)
うち床上: 895棟 床下: 522棟

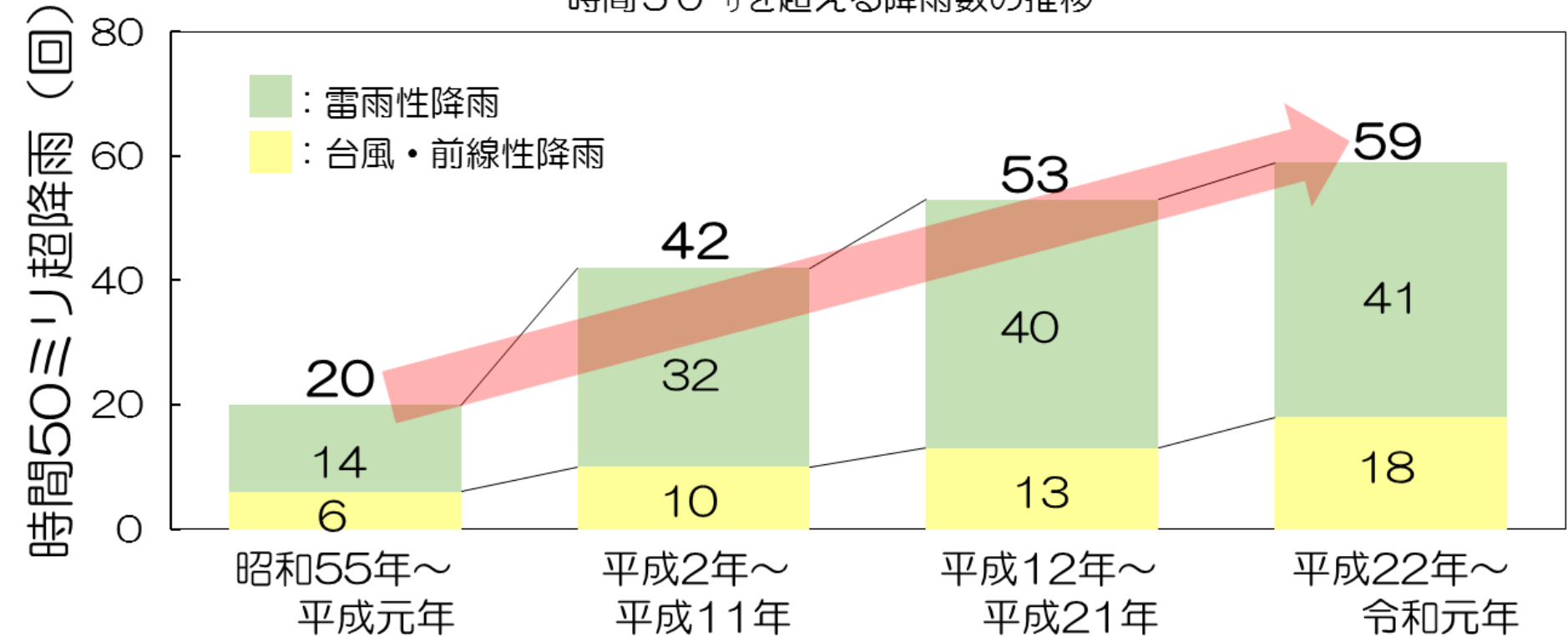
平成17年9月4日の水害写真

妙正寺川 北原橋付近の水害状況

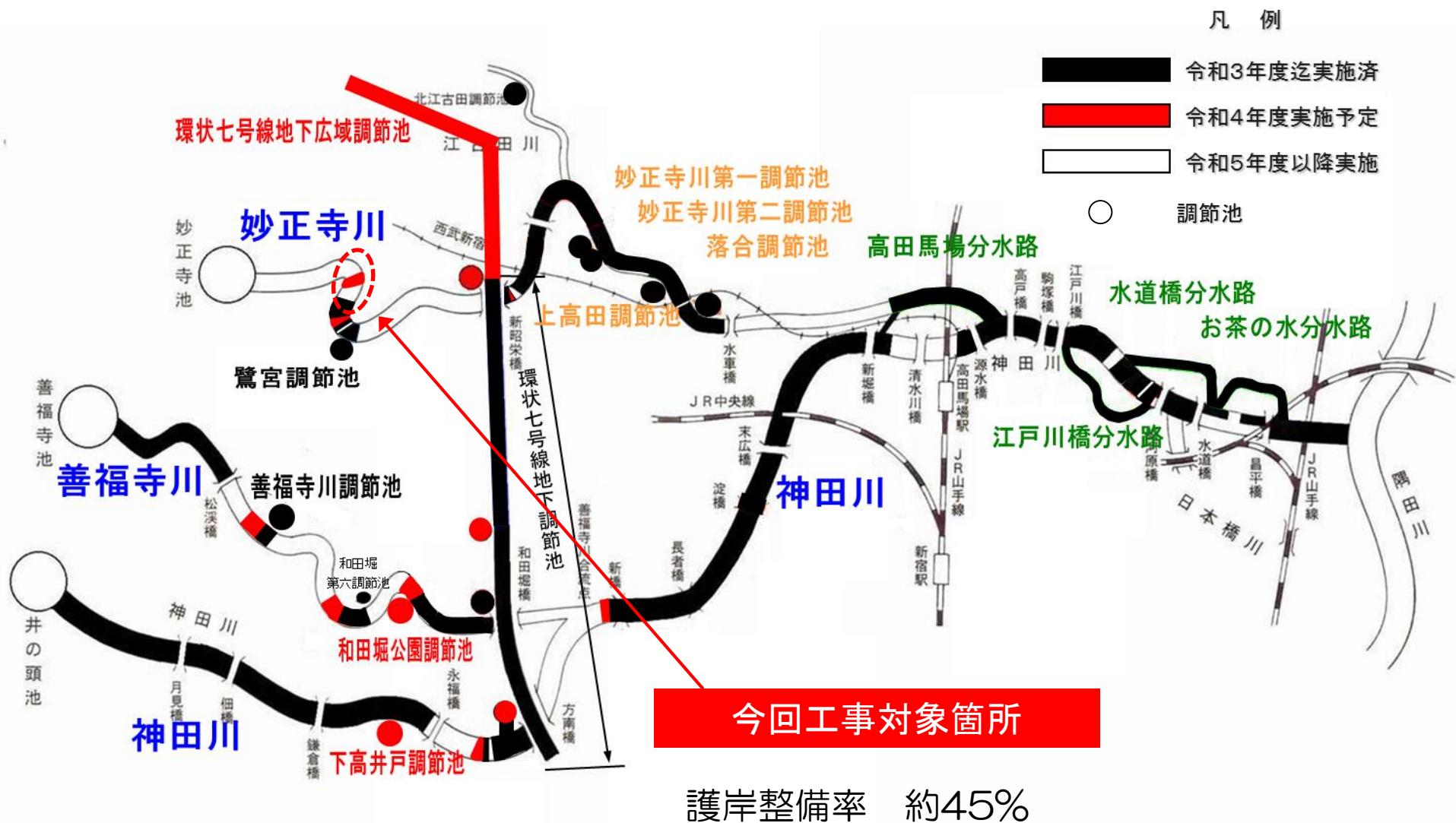


近年の降雨状況の変化

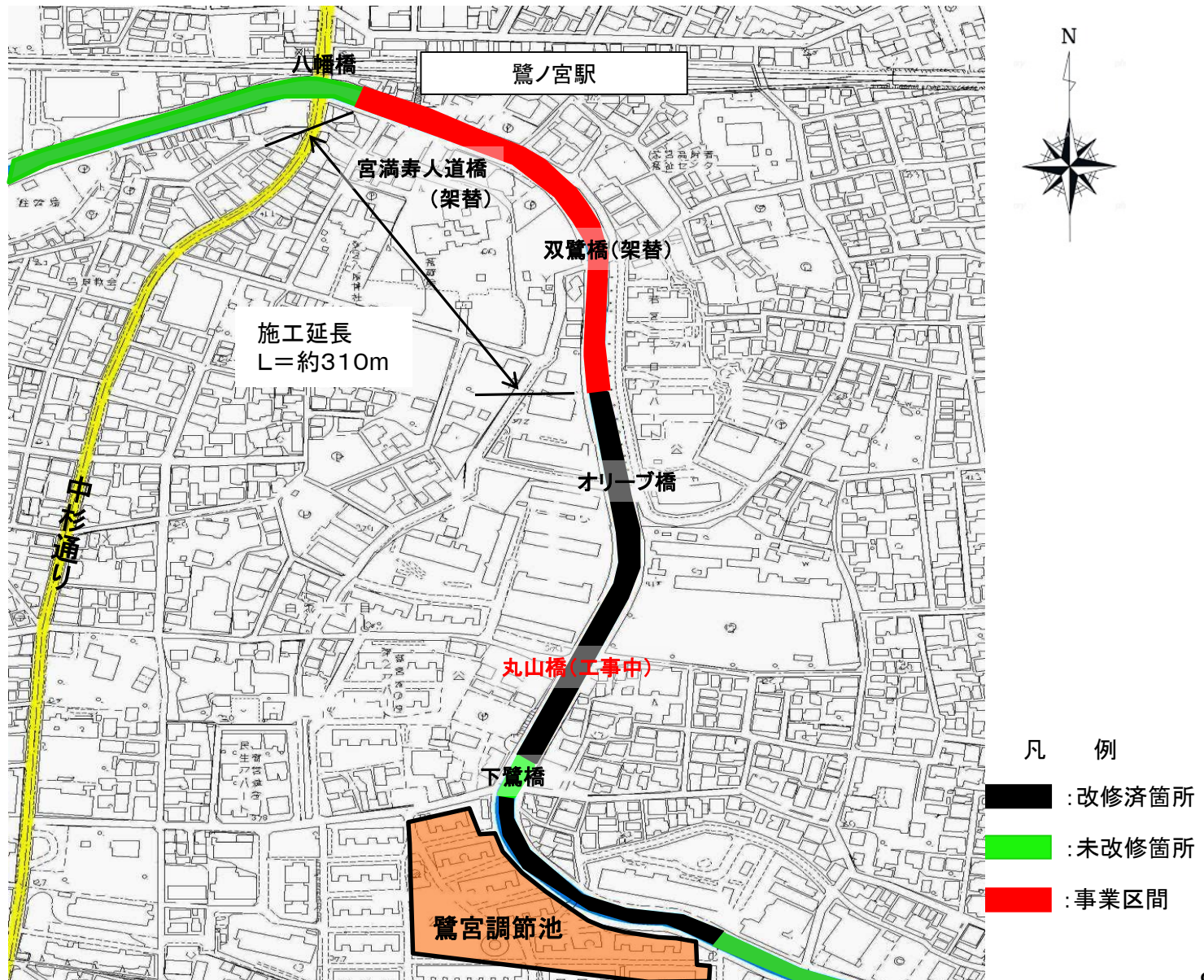
時間50ミリを超える降雨数の推移



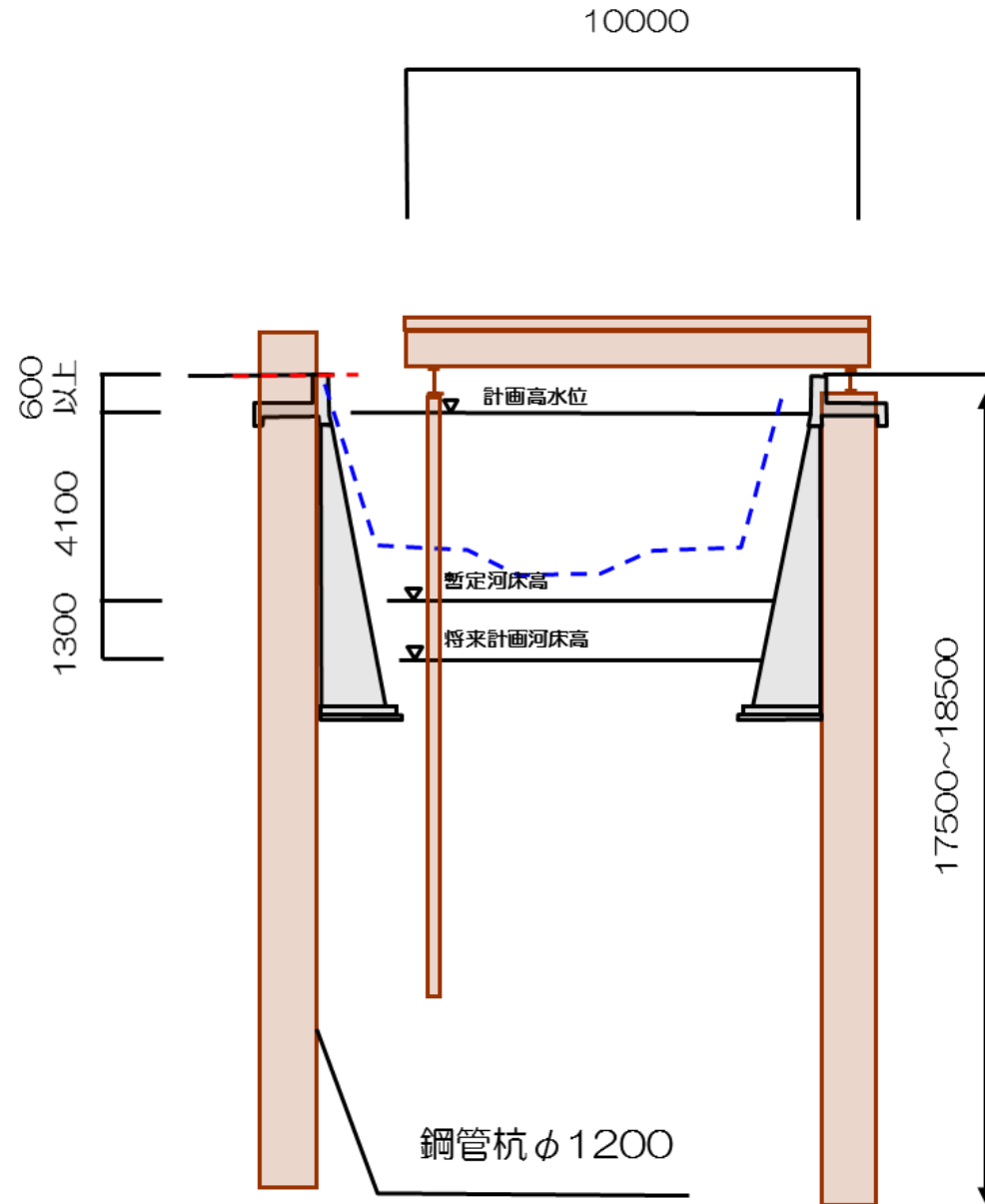
神田川流域の改修状況



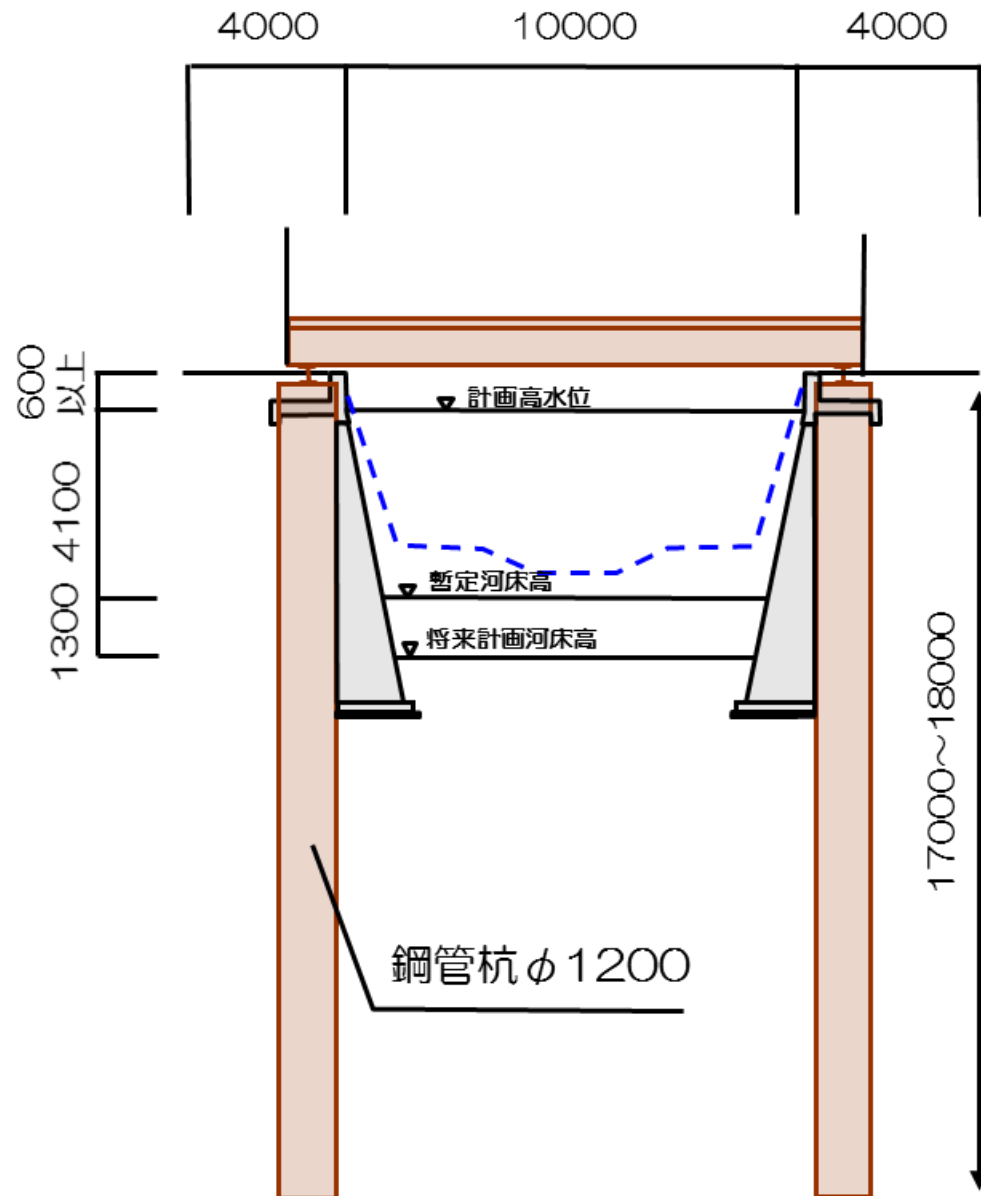
事業区間の整備について



標準断面図（八幡橋下流）



標準断面図（双鷺橋上下流）



現在の護岸の状況



宮満寿人道橋より下流を撮影

工事完了後のイメージ



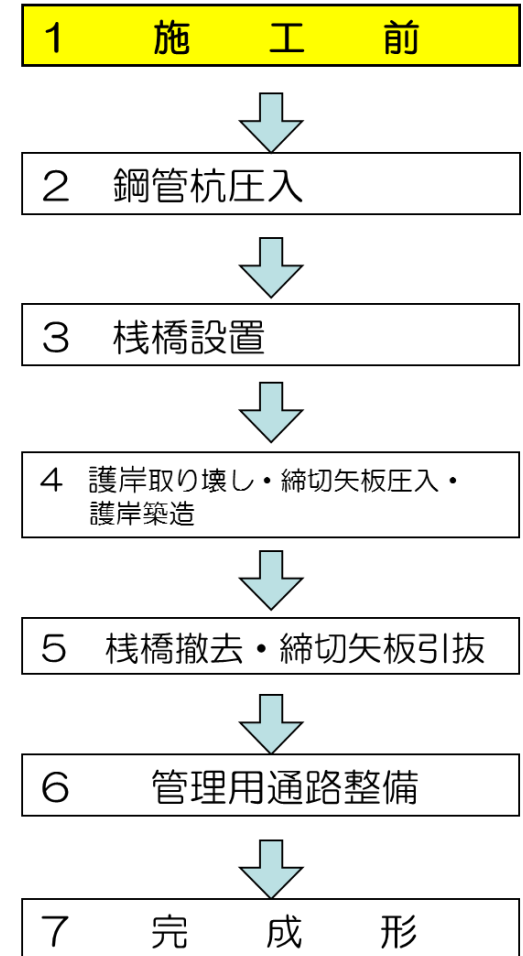
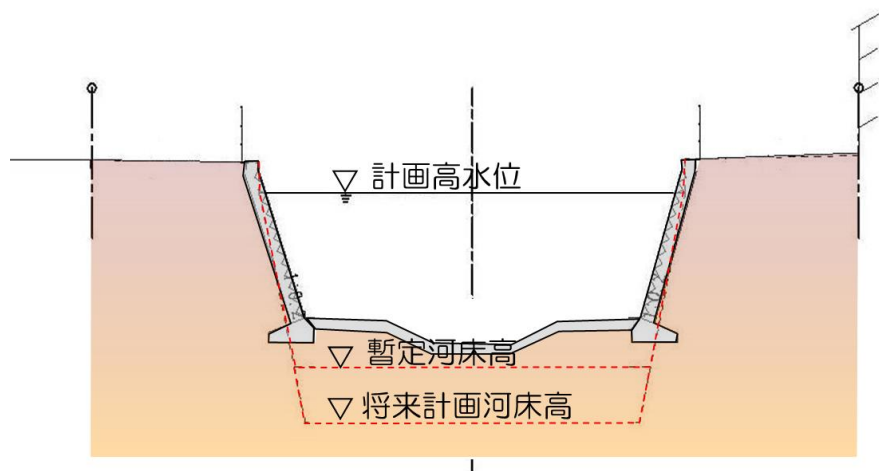
オリーブ橋より上流を撮影

工事の流れについて

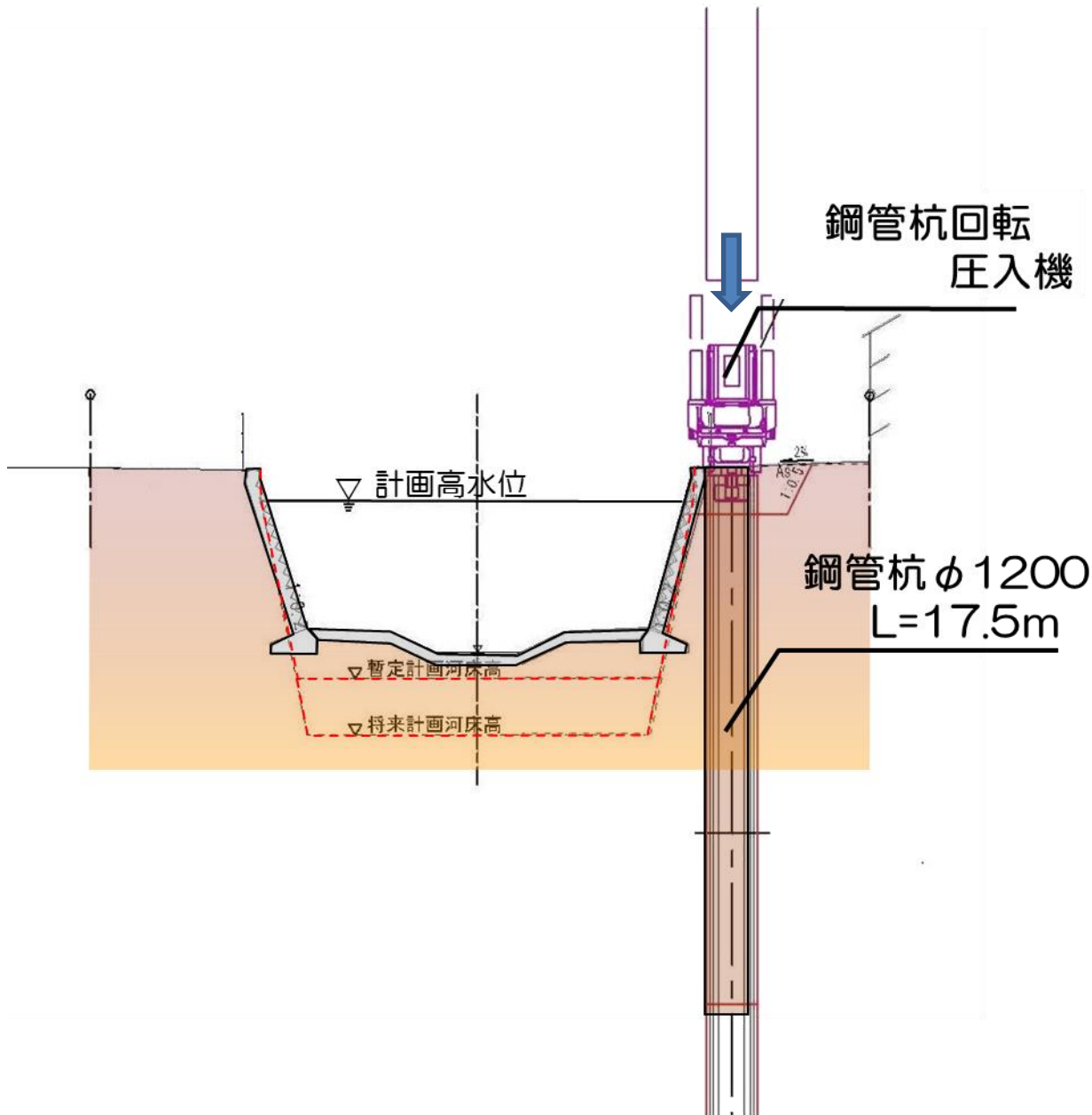
護岸工事の進め方



宮満寿人道橋より下流



護岸工事の進め方



1 施 工 前



2 鋼管杭圧入



3 栈橋設置



4 護岸取り壊し・締切矢板圧入・
護岸築造



5 栈橋撤去・締切矢板引抜



6 管理用通路整備



7 完 成 形

護岸工事の進め方

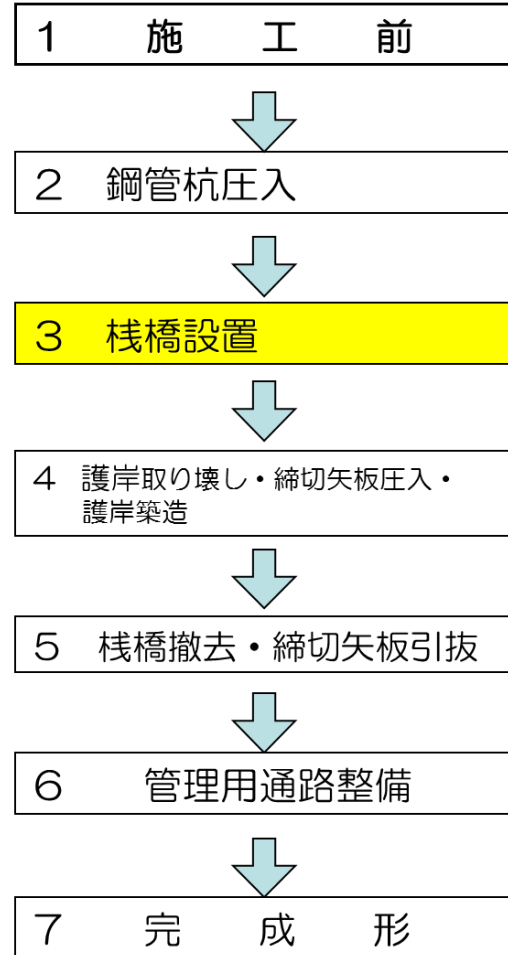
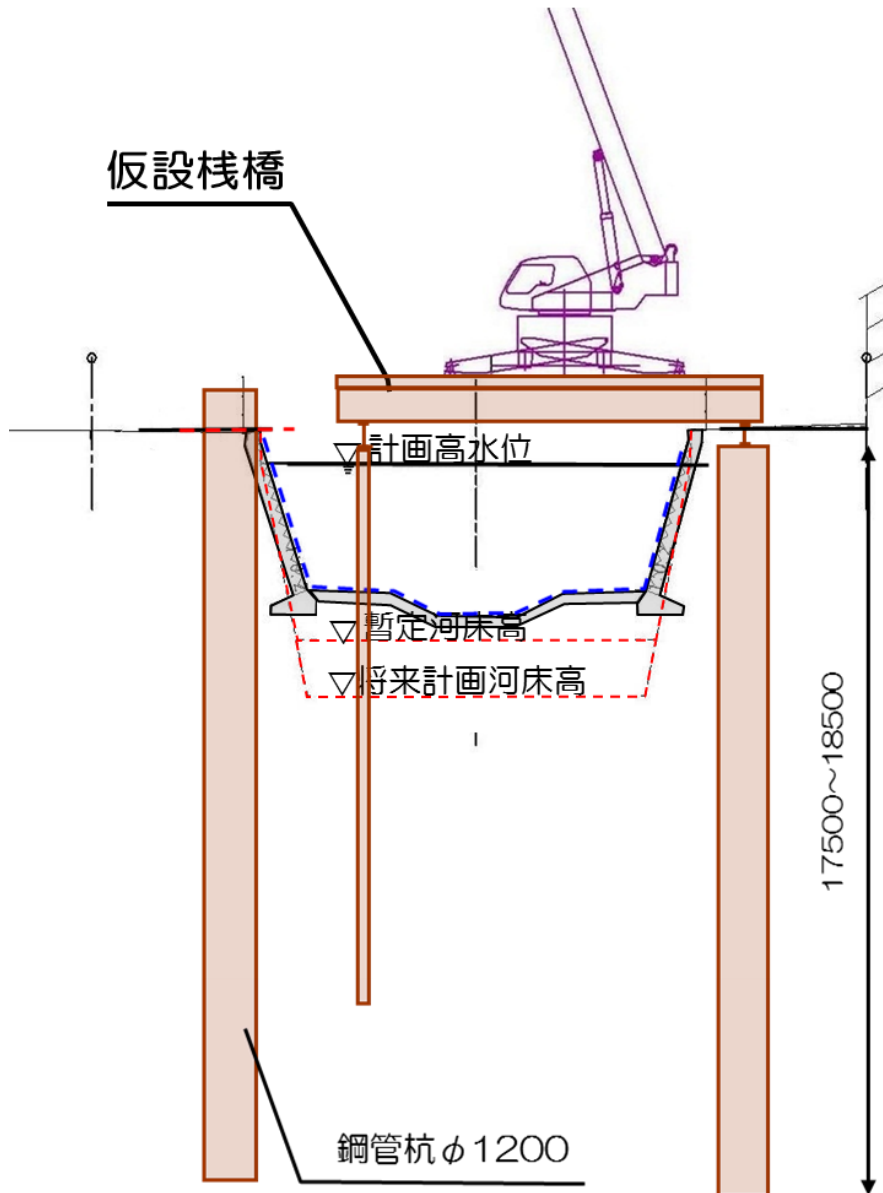
施工イメージ（参考写真）



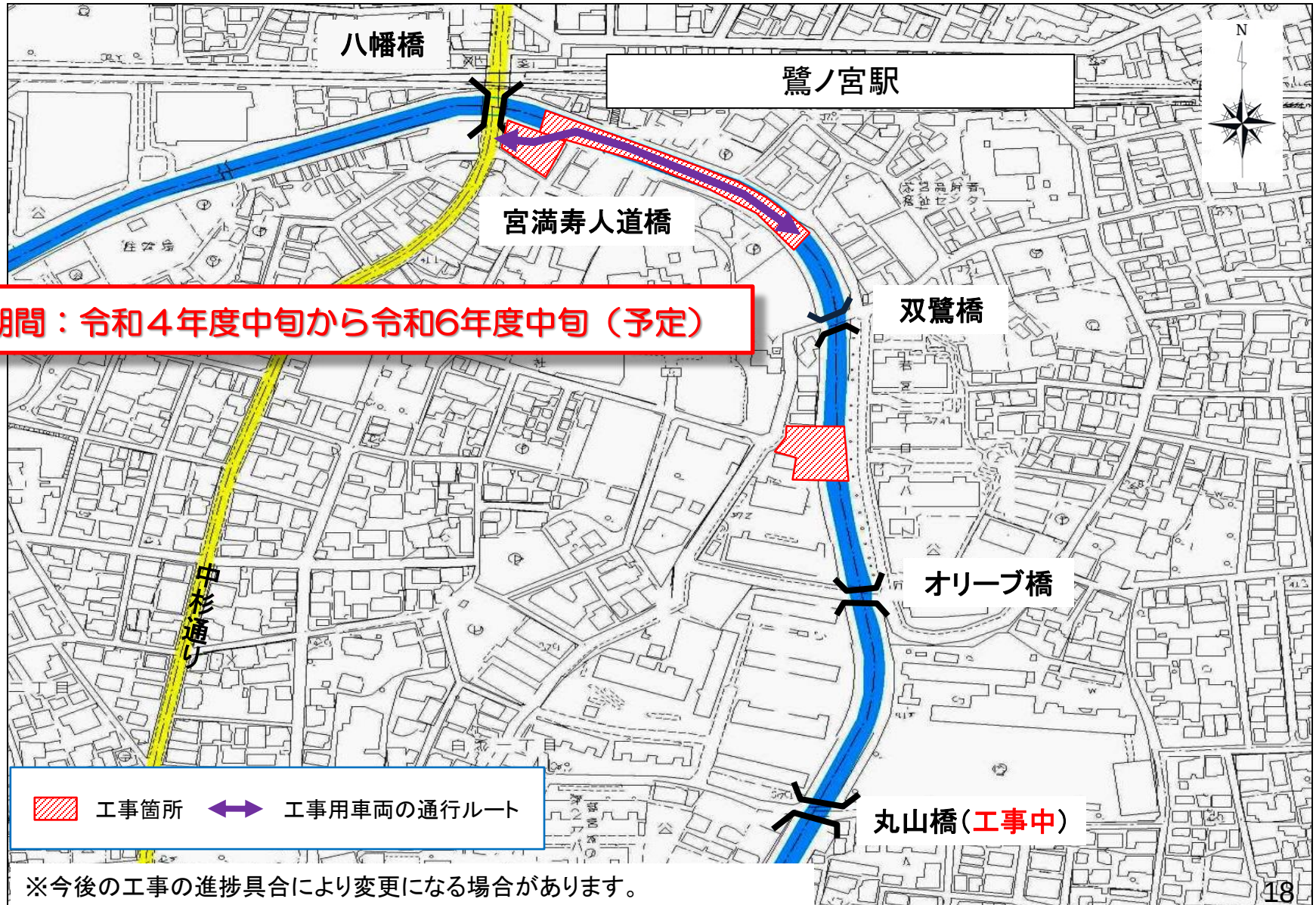
妙正寺川（中野区内）

鋼管杭

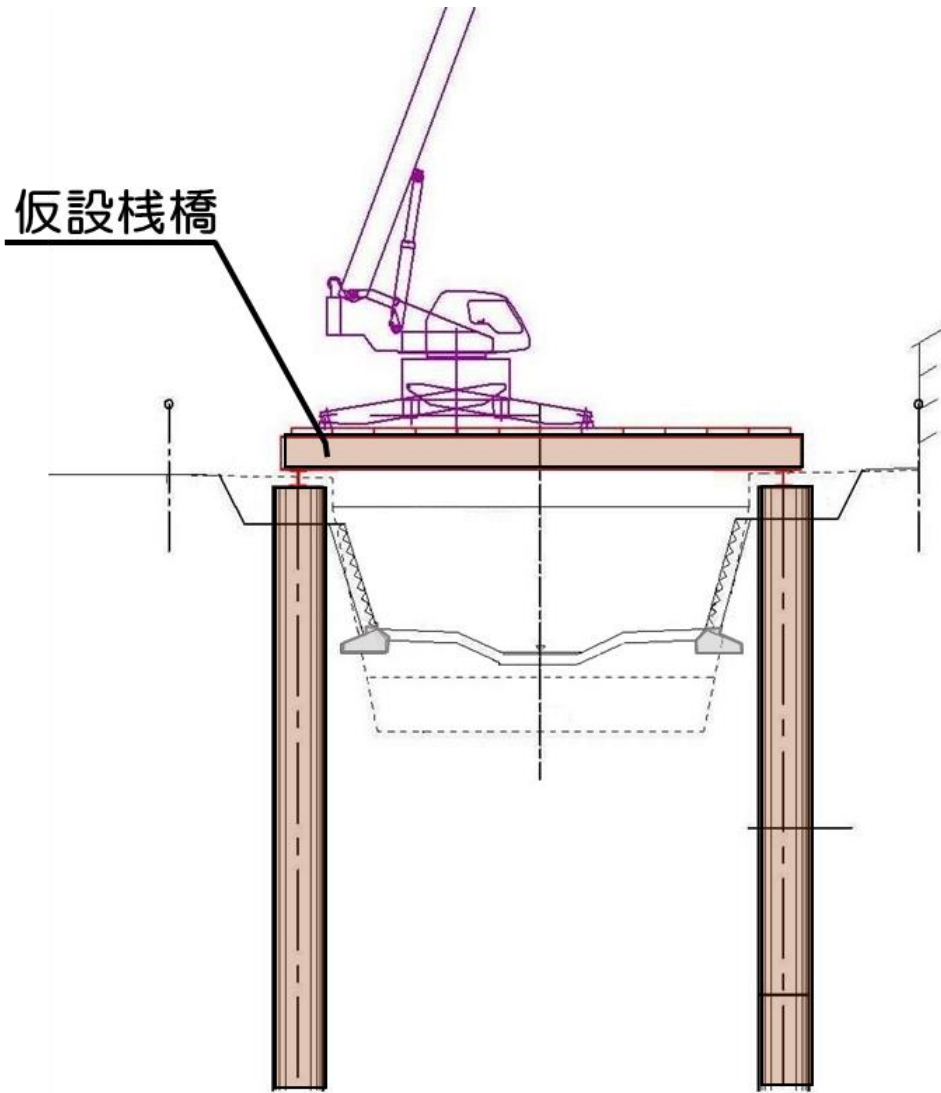
護岸工事の進め方



護岸工事の進め方



護岸工事の進め方



1 施 工 前



2 鋼管杭圧入



3 栈橋設置



4 護岸取り壊し・締切矢板圧入・
護岸築造



5 栈橋撤去・締切矢板引抜



6 管理用通路整備



7 完 成 形

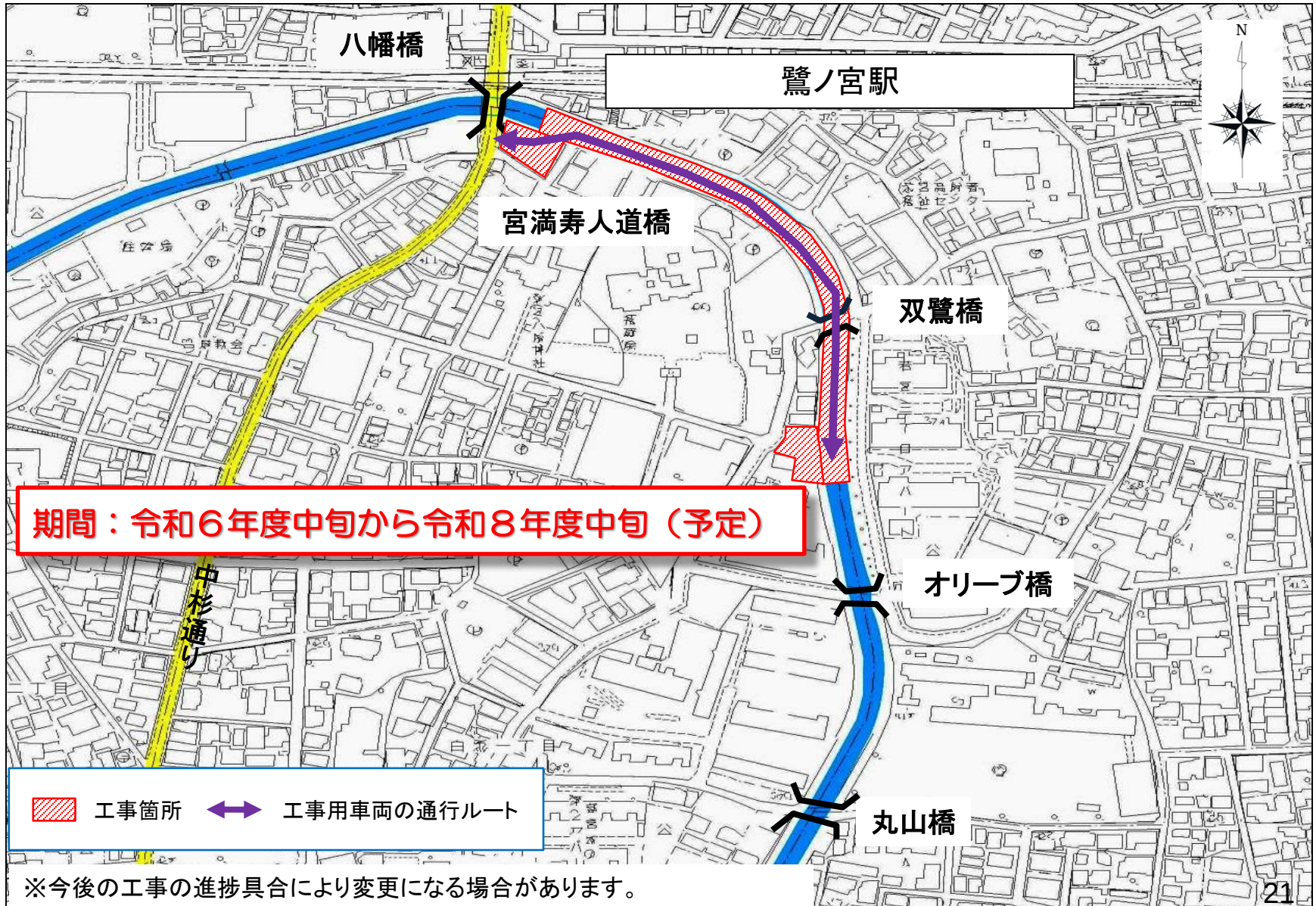
護岸工事の進め方

施工イメージ(参考写真)

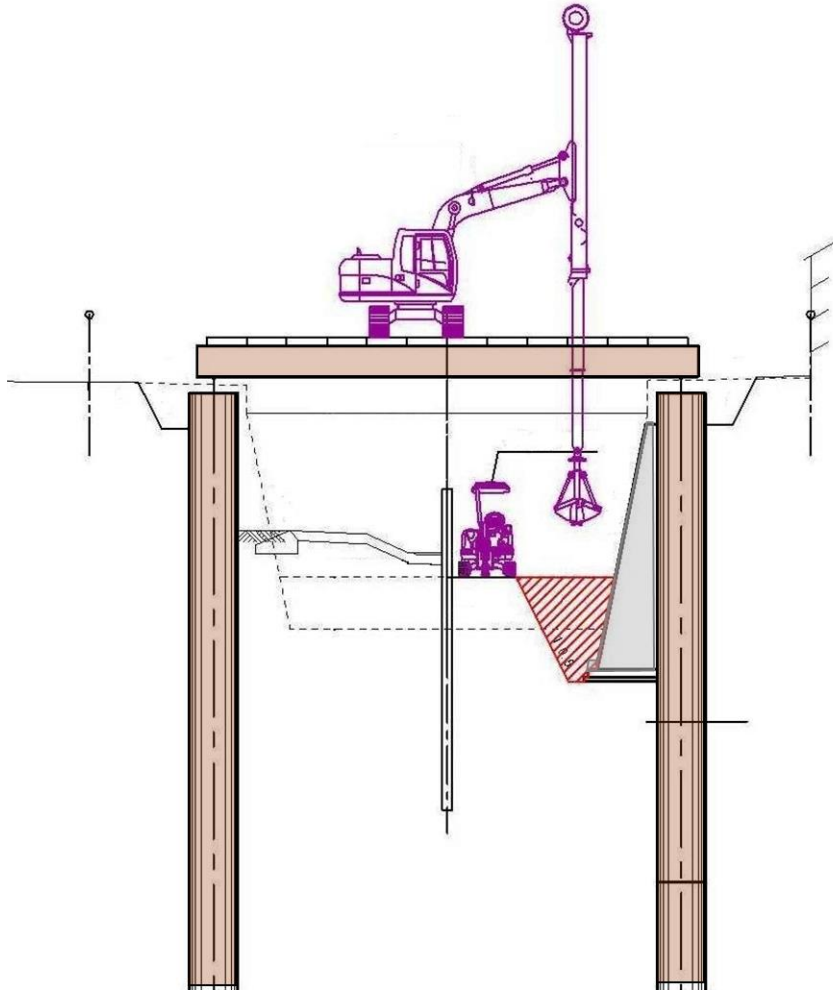


妙正寺川(中野区内)

護岸工事の進め方



護岸工事の進め方



1 施 工 前



2 鋼管杭圧入



3 栈橋設置



4 護岸取り壊し・締切矢板圧入・
護岸築造



5 栈橋撤去・締切矢板引抜

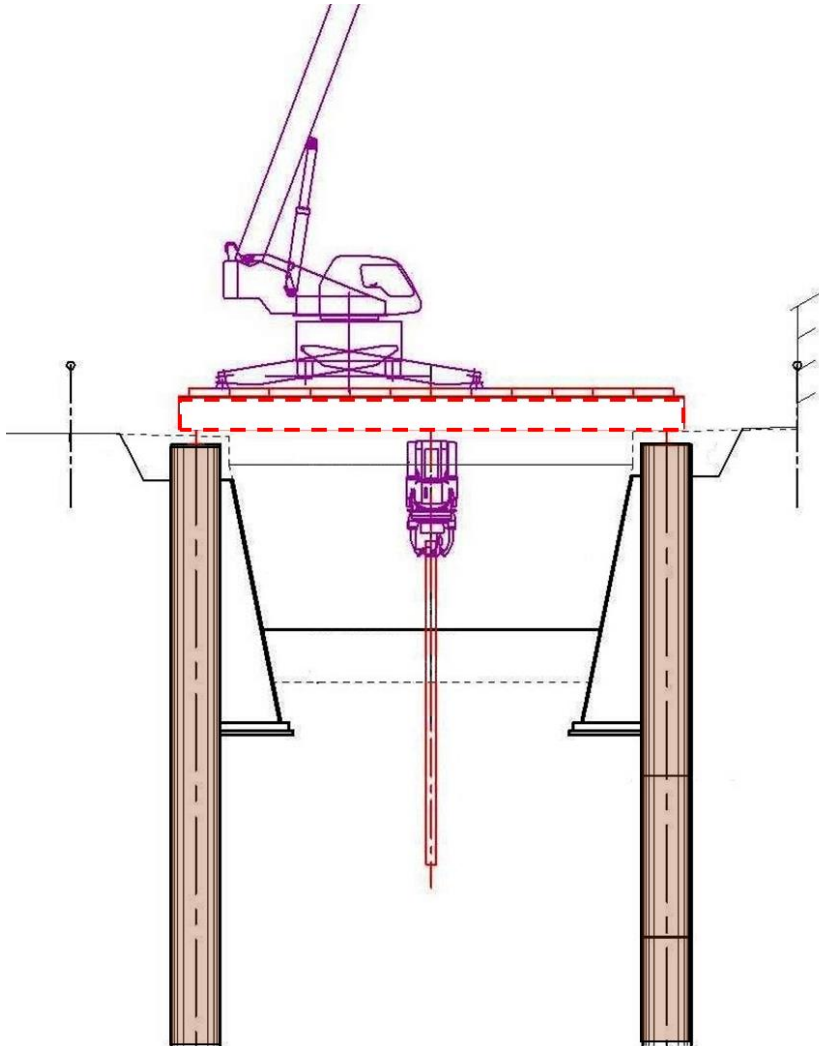


6 管理用通路整備



7 完 成 形

護岸工事の進め方



1 施 工 前



2 鋼管杭圧入



3 栈橋設置



4 護岸取り壊し・締切矢板圧入・
護岸築造



5 栈橋撤去・締切矢板引抜

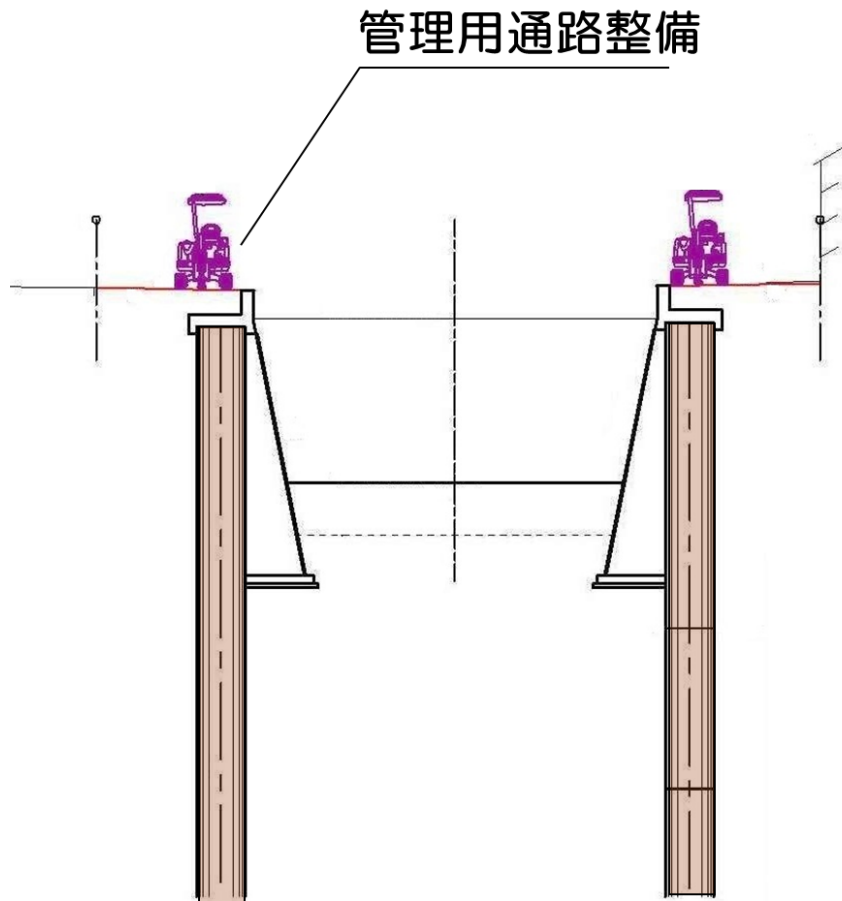


6 管理用通路整備



7 完 成 形

護岸工事の進め方



1 施 工 前



2 鋼管杭圧入



3 栈橋設置



4 護岸取り壊し・締切矢板圧入・
護岸築造



5 栈橋撤去・締切矢板引抜

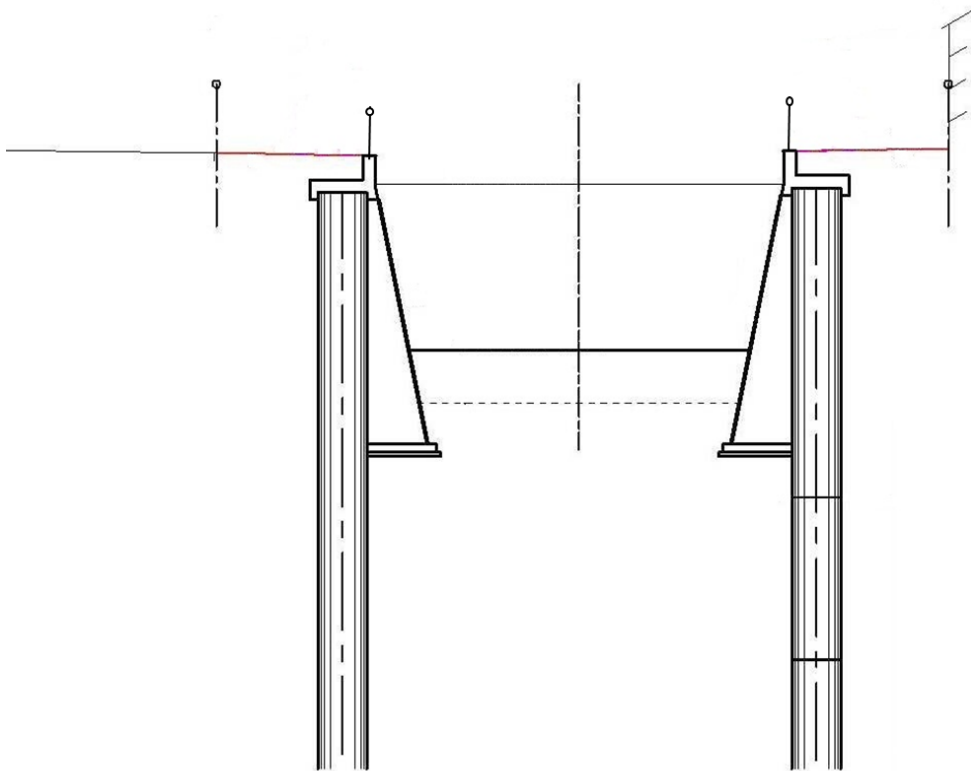


6 管理用通路整備



7 完 成 形

護岸工事の進め方



1 施 工 前



2 鋼管杭圧入



3 栈橋設置



4 護岸取り壊し・締切矢板圧入・
護岸築造



5 栈橋撤去・締切矢板引抜

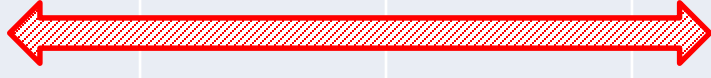


6 管理用通路整備



7 完 成 形

事業スケジュール（予定）について

年度 工事箇所	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
搬入路整備工事 （八幡橋下流）						
双鷺橋上流 ～ 宮満寿人道橋上流						
オリーブ橋上流 ～ 双鷺橋上流						
オリーブ橋上流 ～ 八幡橋下流						
宮満寿人道橋 通行止め （仮設人道橋設置）						
双鷺橋 通行止め						

※ このスケジュールは、現時点での予定であり、予算等の都合により変更する場合があります。
また、工事の施工手順によっては、期間及び時期が前後する可能性があります。
なお、詳細な施工計画は、工事契約後に受注者にて策定します。

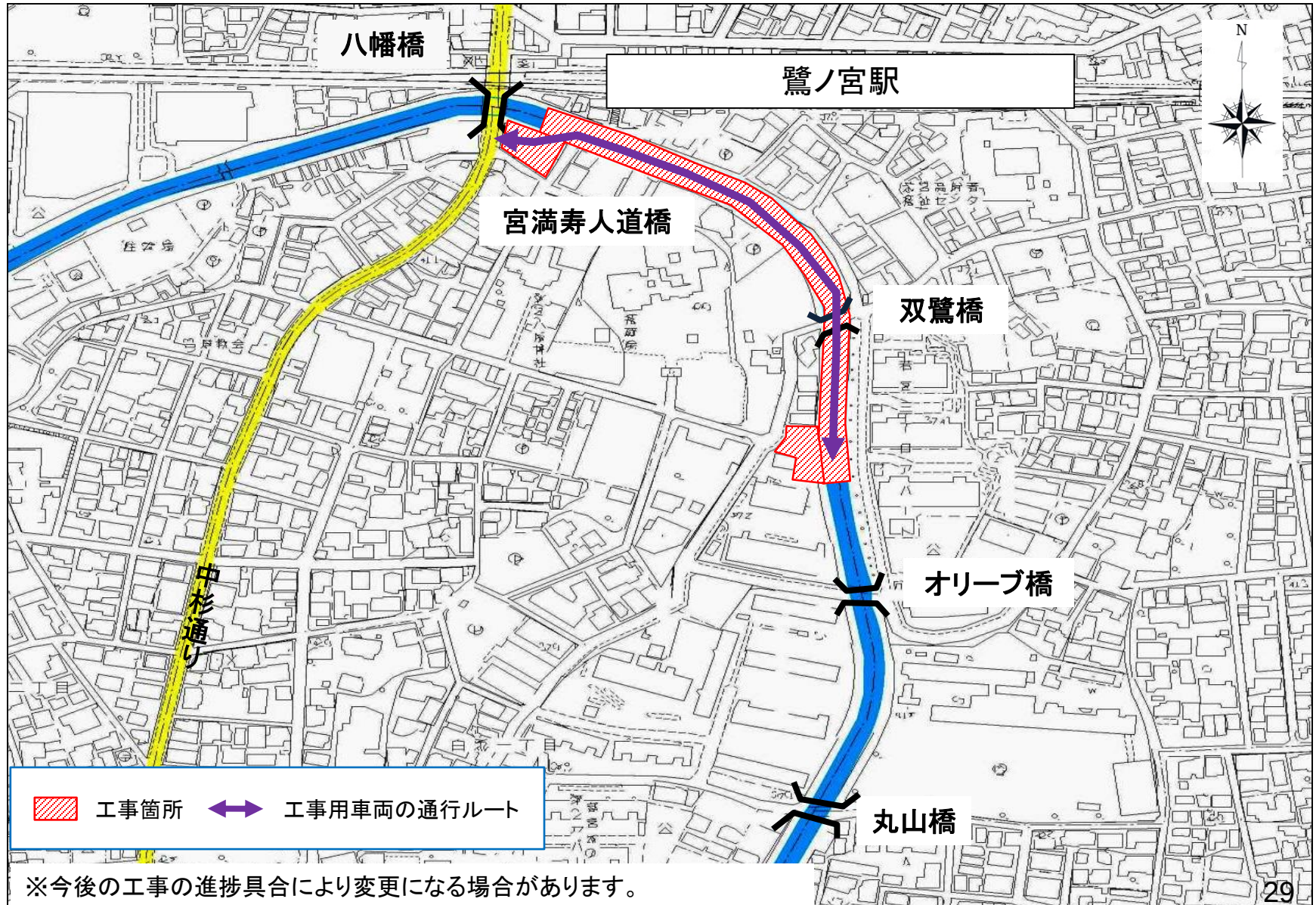
工事に伴う通行止めについて

工事に伴う通行止めについて

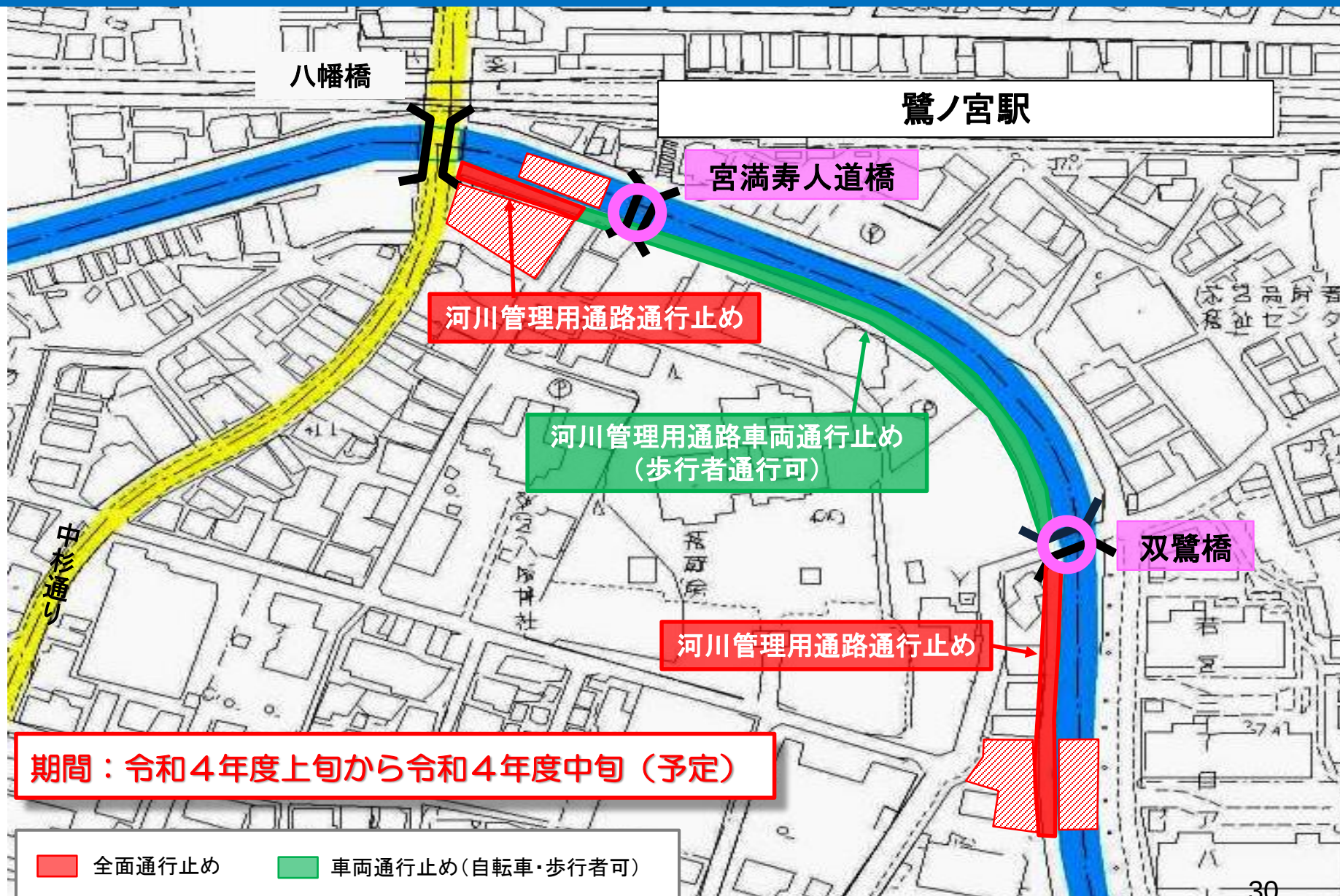
妙正寺川整備工事(オリーブ橋上流から八幡橋下流)の施工に伴い、宮満寿人道橋、双鷺橋及び河川管理用通路(川沿いの通路)が通行止めとなる時期があります。

工事期間中、皆様には大変ご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

工事用車両の通行ルート



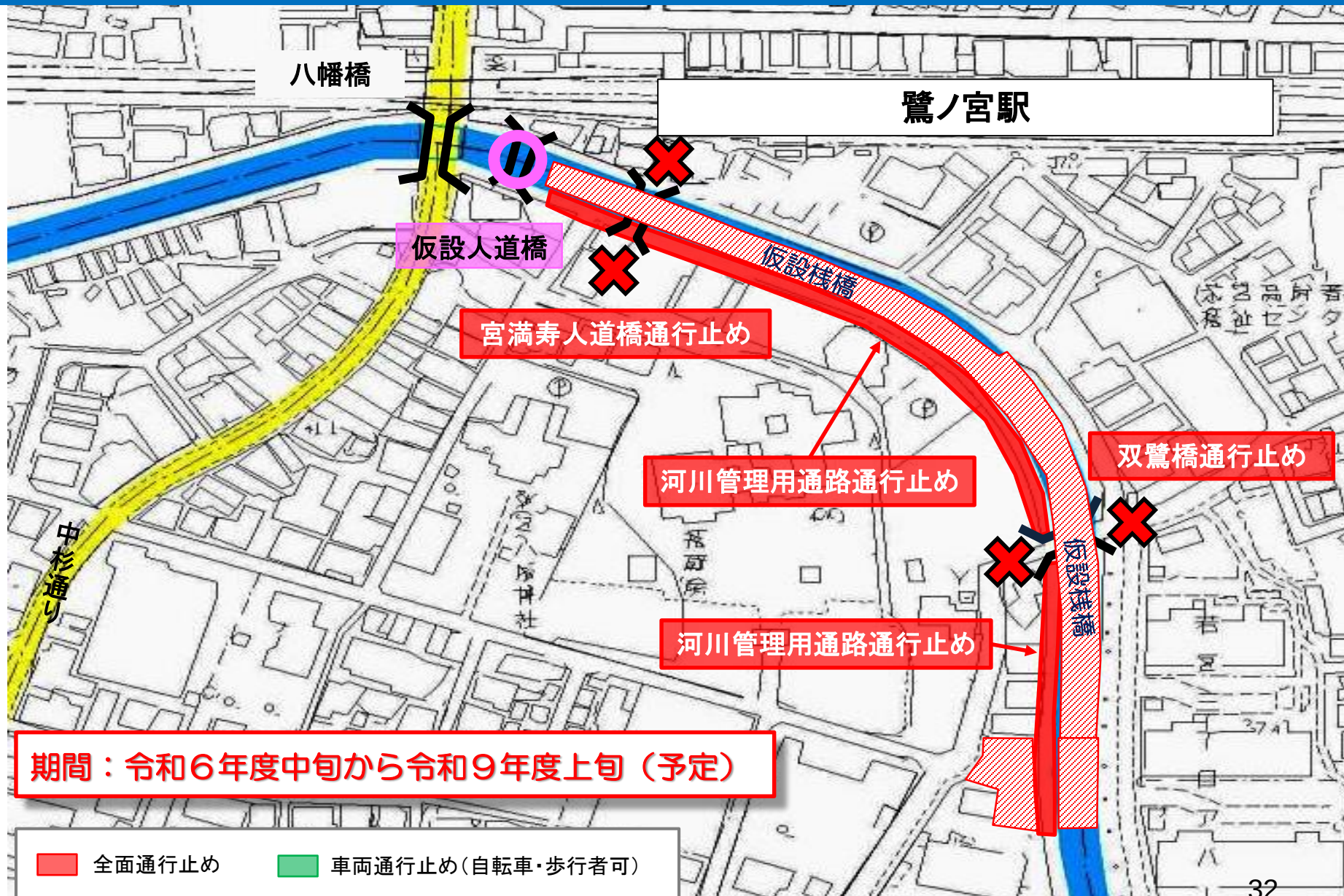
工事の進捗と通行止め箇所①



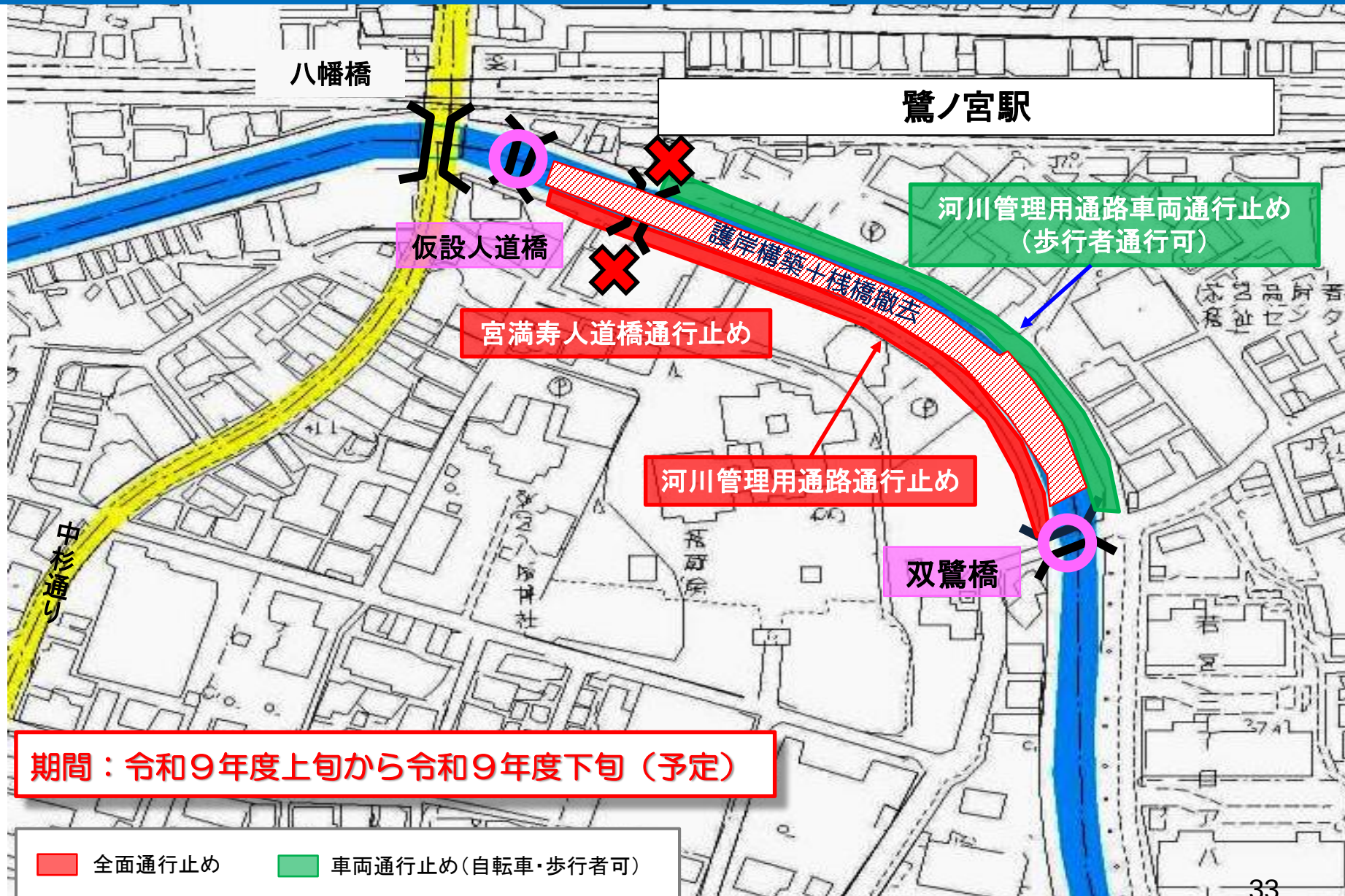
工事の進捗と通行止め箇所②



工事の進捗と通行止め箇所③



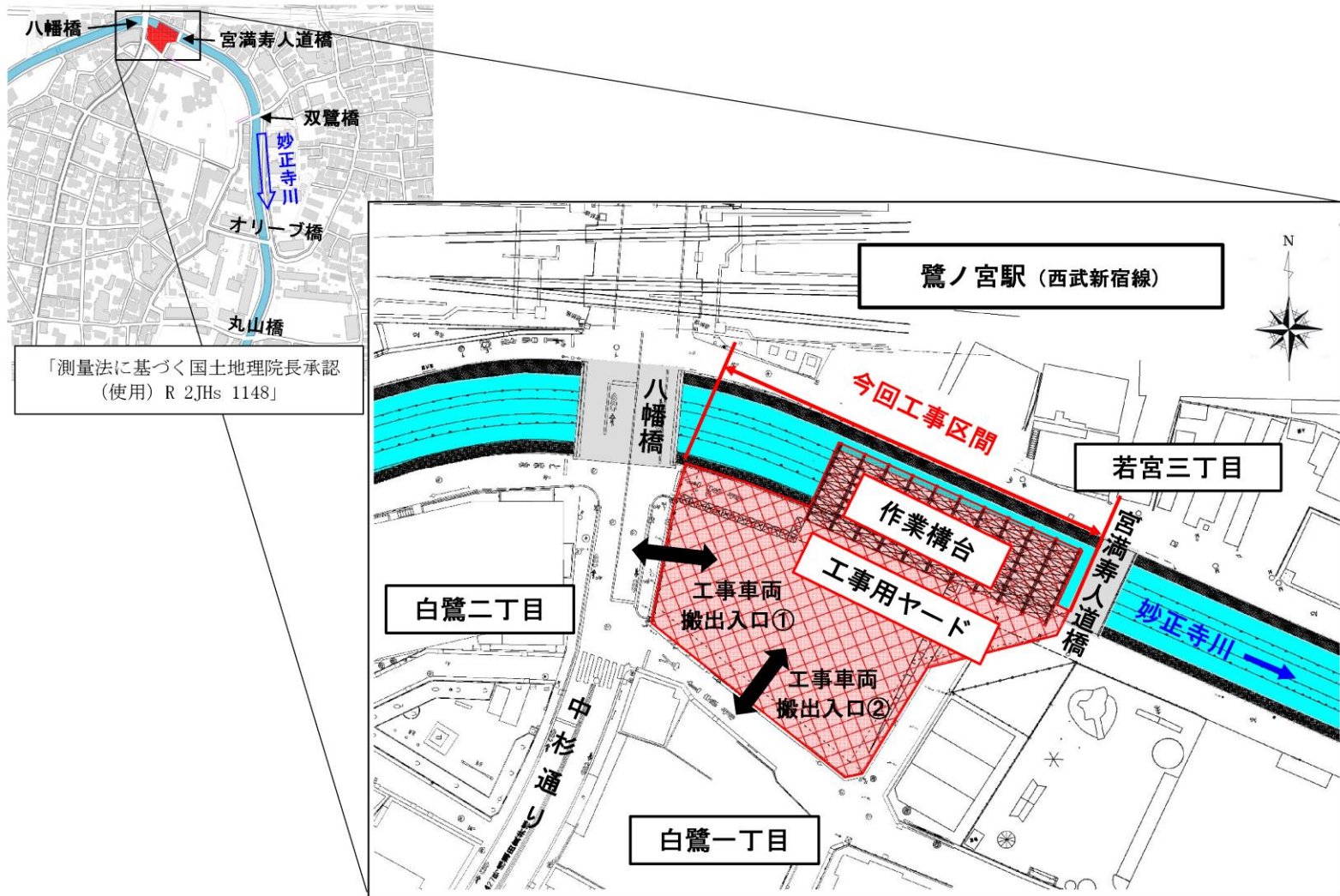
工事の進捗と通行止め箇所④



工事概要

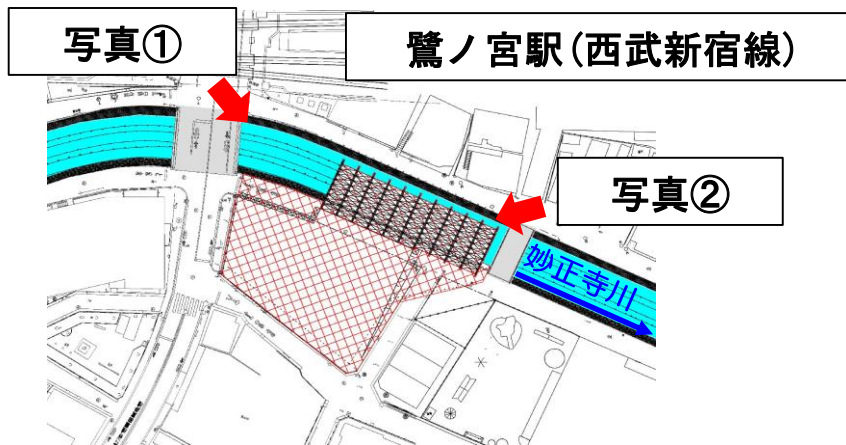
大豊建設株式会社

今回工事区間



現況写真

平面図



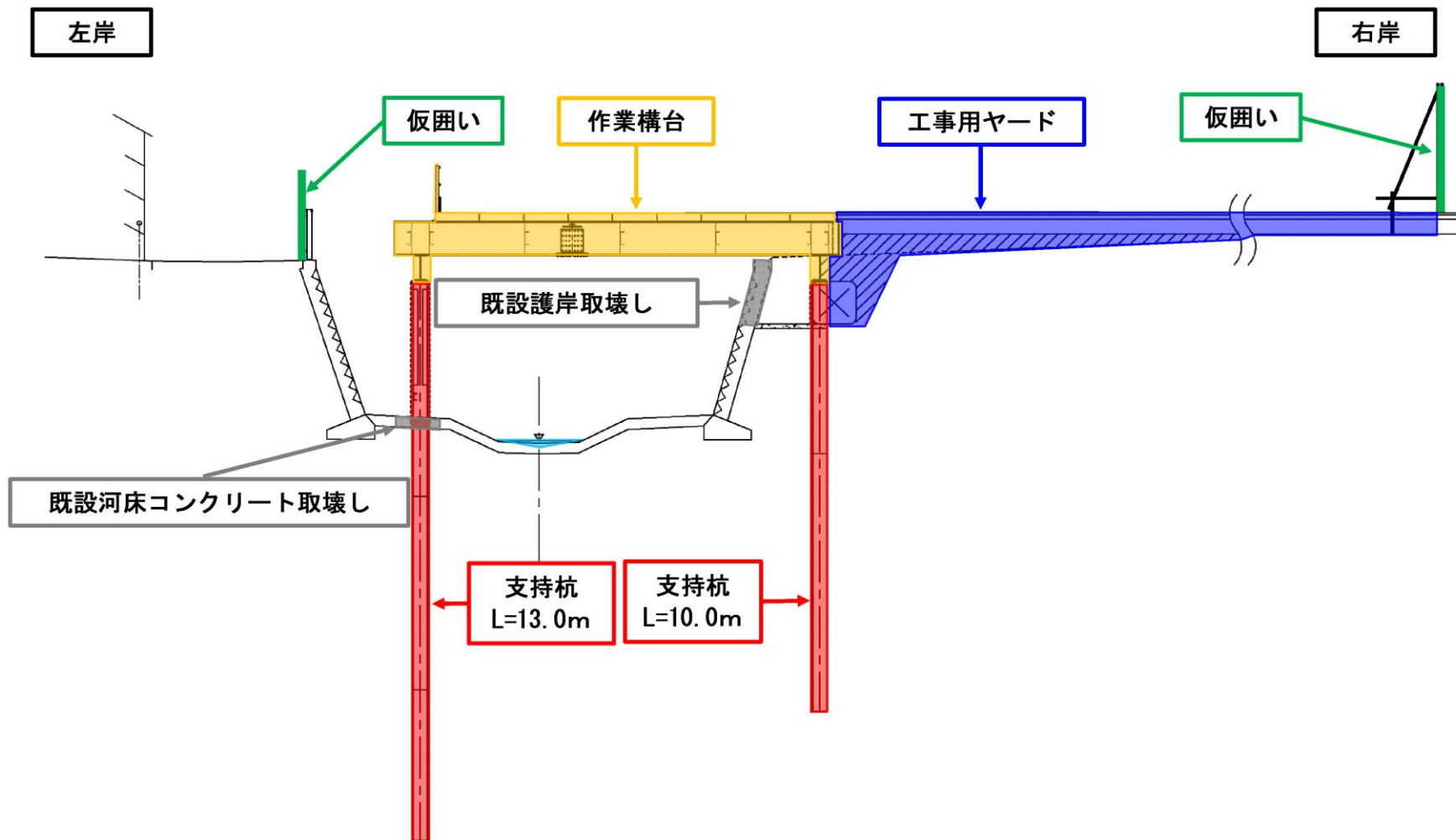
今回整備箇所現況写真①(上流側より)



今回整備箇所現況写真②(下流側より)



標準断面図



工事内容

河川内と護岸の土中にH形鋼材を埋め込み、その上部に作業構台を設置します。

その後、作業構台への乗入れ部分の整備を行います。

施工延長：54.6m（河川中心）

- ・河川土工・撤去工 1式
- ・H形鋼材設置工 長さ10m～13m、n=22本
- ・作業構台設置工 幅9m 延長30m
- ・工事用ヤード整備工 1式

工事期間・施工時間

工事期間

自 令和 4 年 5 月 中旬

至 令和 4 年 8 月 中旬（予定）

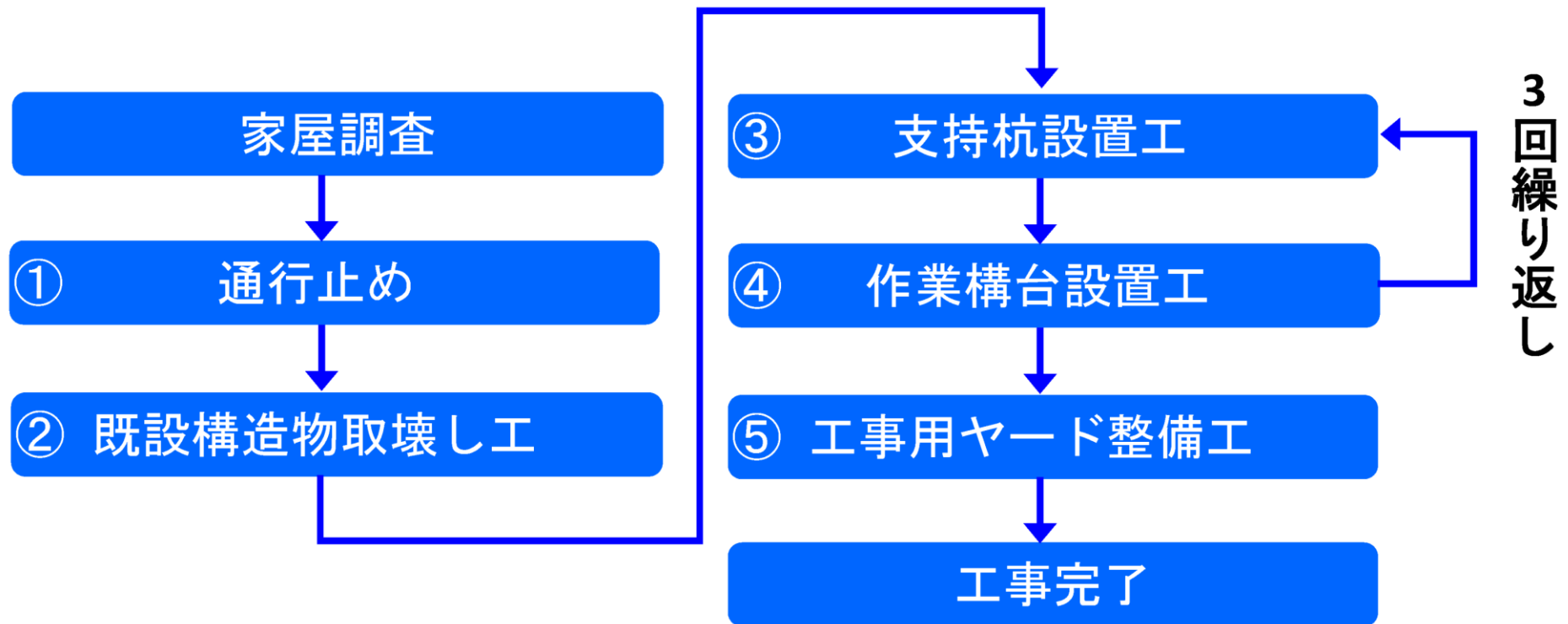
施工時間

午前 8:00 ～ 午後 6:00

※夜間作業を行う場合は事前にお知らせを配布します。

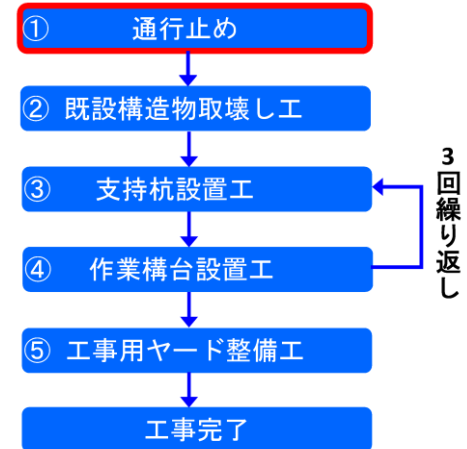
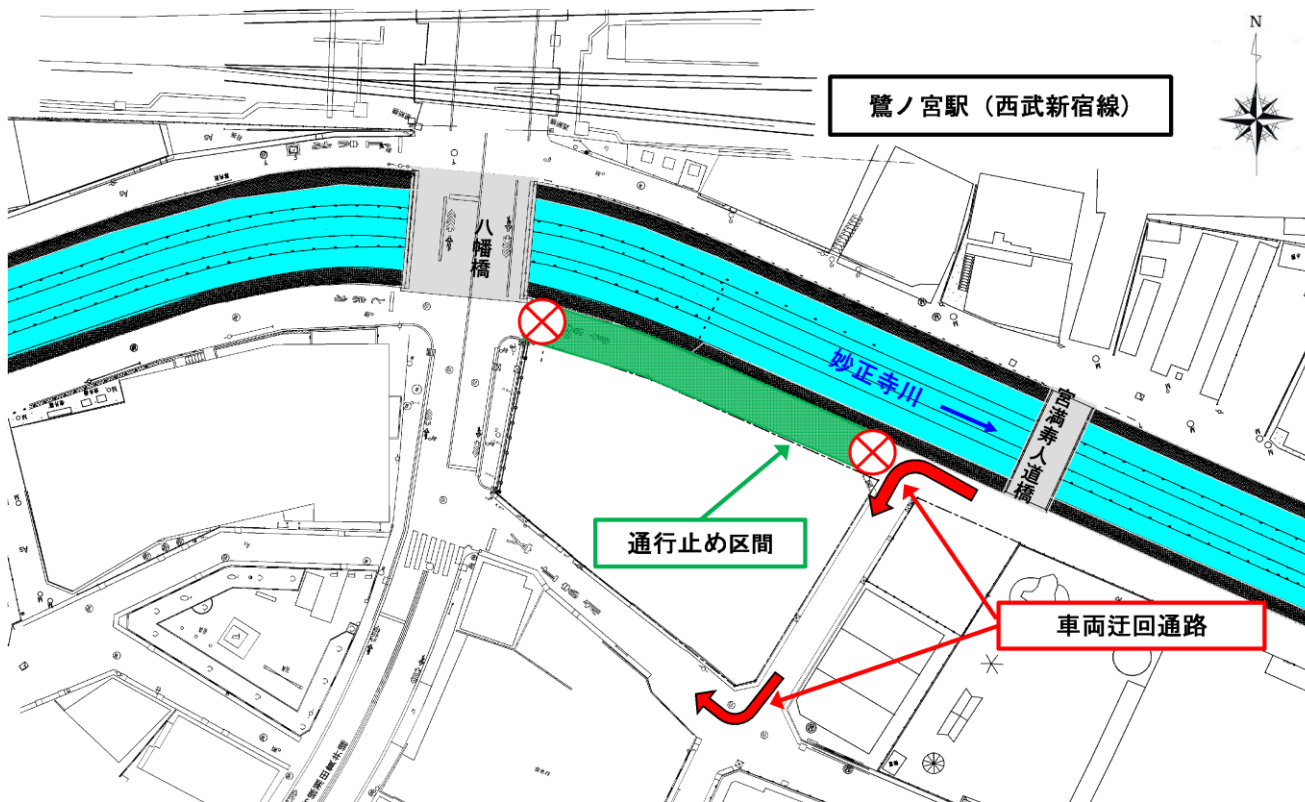
（土曜・日曜日・祝日は原則作業を行いません）

施工フロー



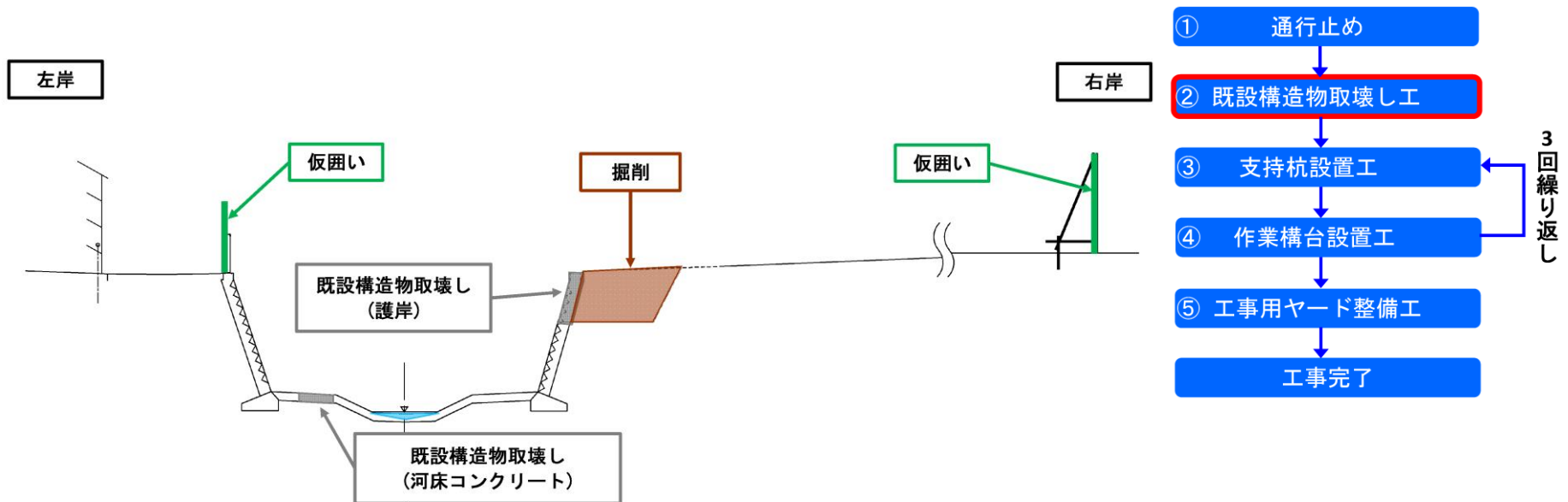
通行止め

工事用ヤードとして使用する為、河川管理用通路の一部(緑色)が通行止めになります。



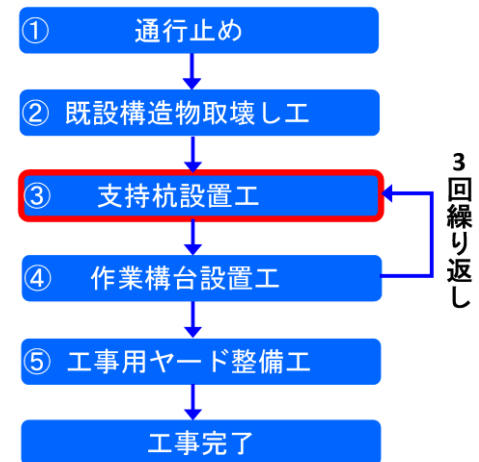
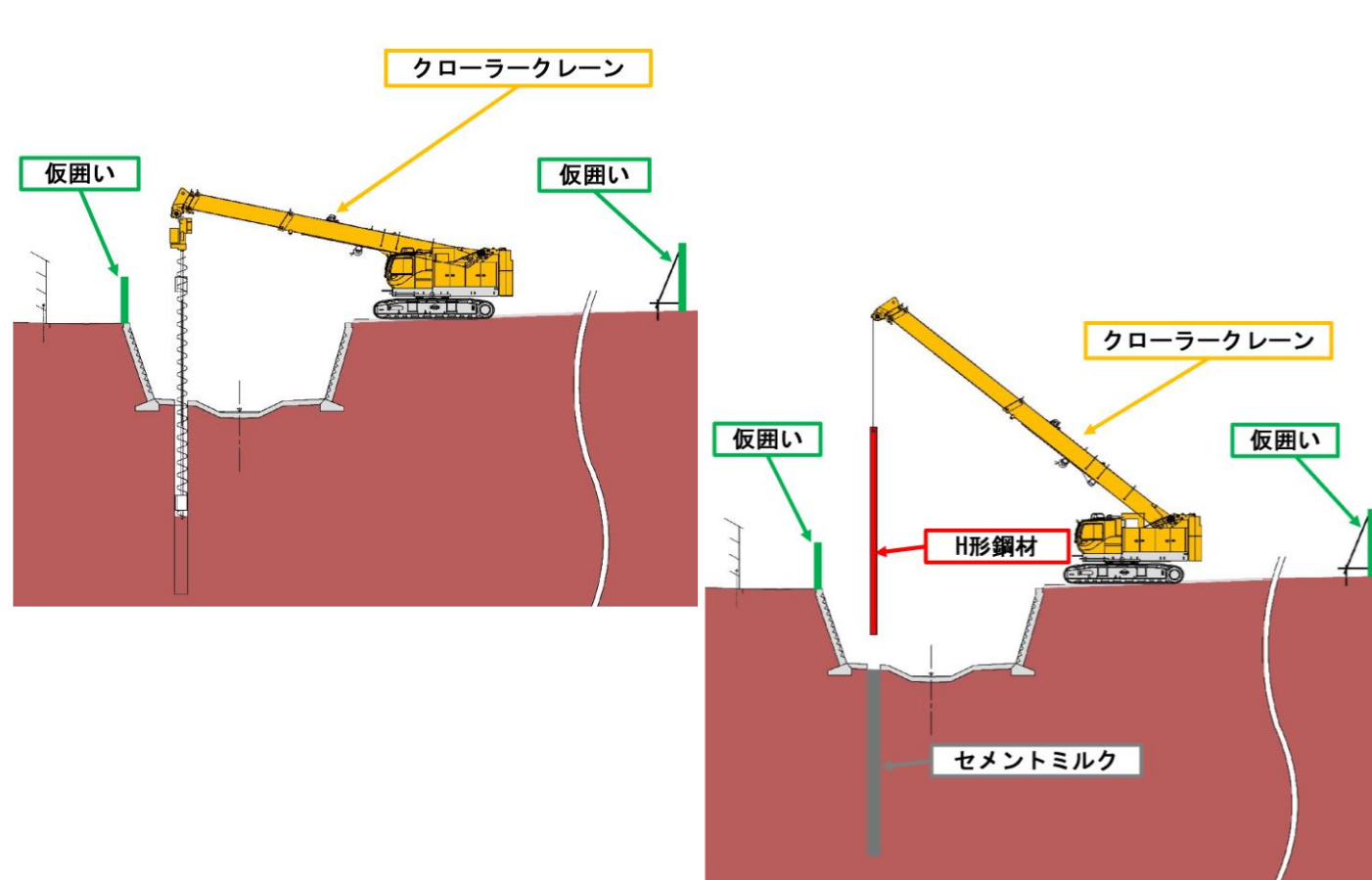
既設構造物取壊し工

作業構台設置に先立ち、仮囲い(緑色)を設置します。
仮囲い設置後、現地盤の掘削(茶色)及び既設構造物の取壊しをします。



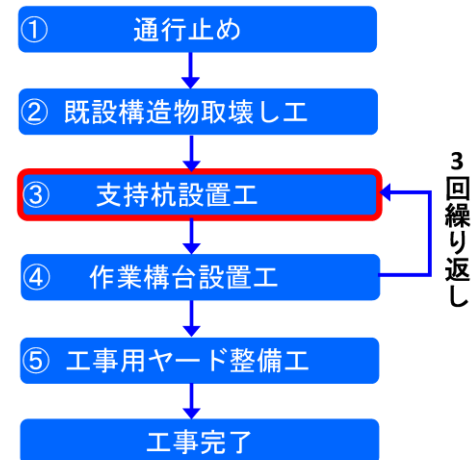
支持杭設置工

クローラークレーンにつけたドリルで支持杭設置箇所の穴を掘り、セメントミルクを充填します。
その後、H形鋼材をこの穴に建込みます。



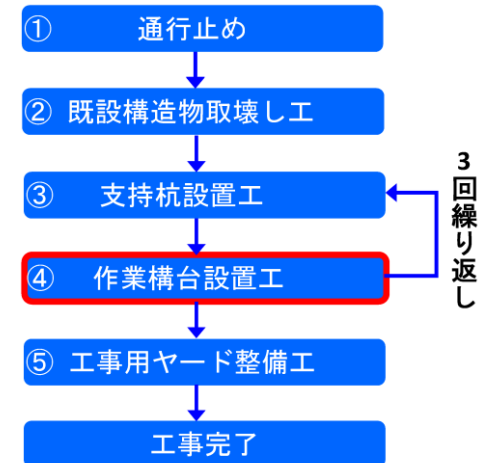
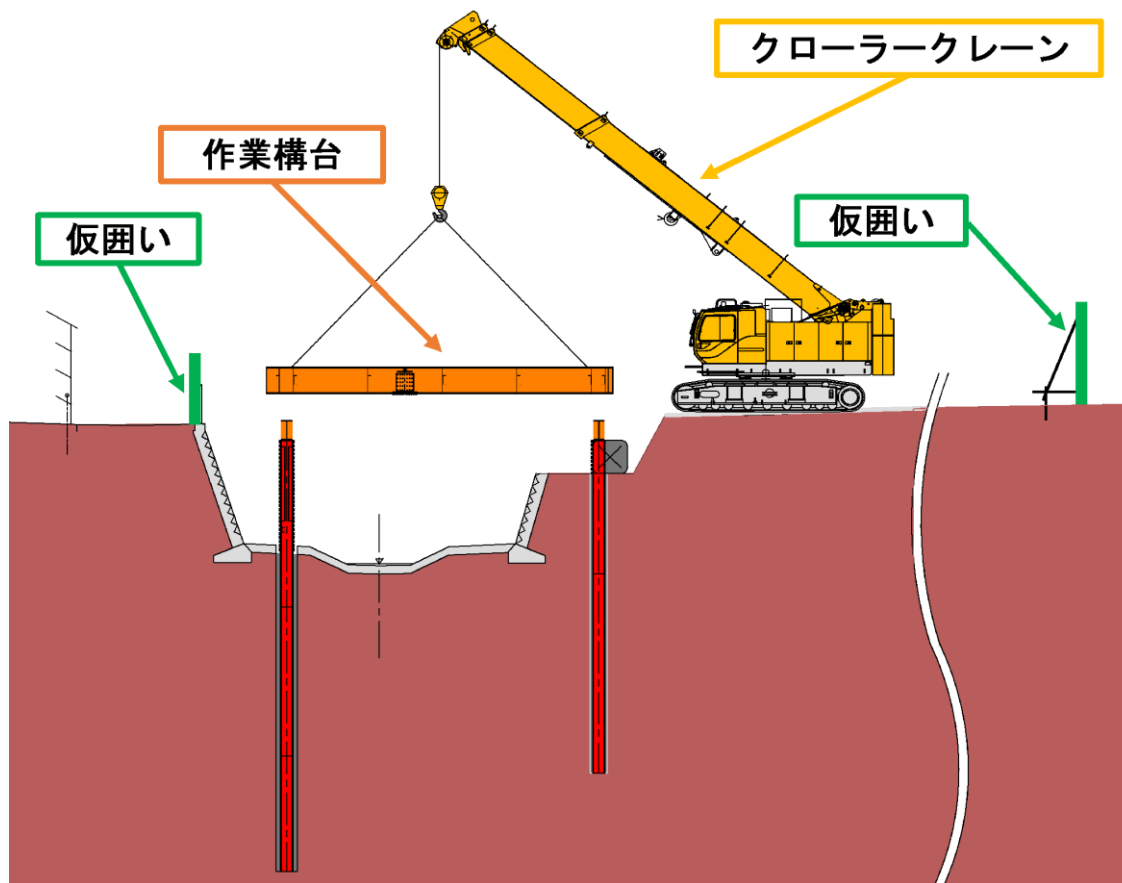
支持杭設置工

使用機械写真
クローラークレーン



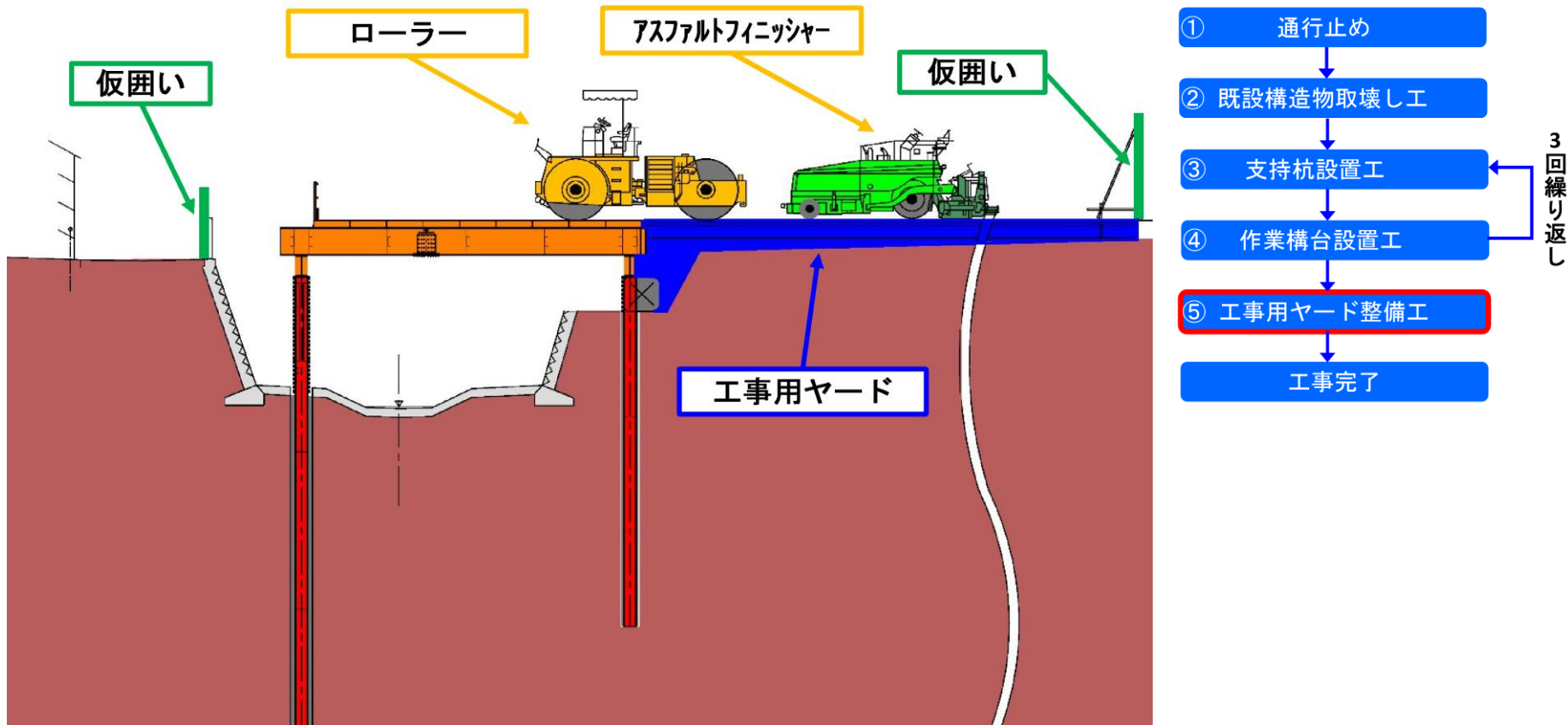
作業構台設置工

土中に埋めたH形鋼材の上に作業構台(橙色)を設置します。
この後、(支持杭設置)～(作業構台設置)の作業を繰り返しながら作業構台の設置を下流に進めていきます。



工事用ヤード整備工

作業構台(橙色)にアスファルト舗装(青色)を擦り付け、作業構台に車両が乗入れられるようにします。



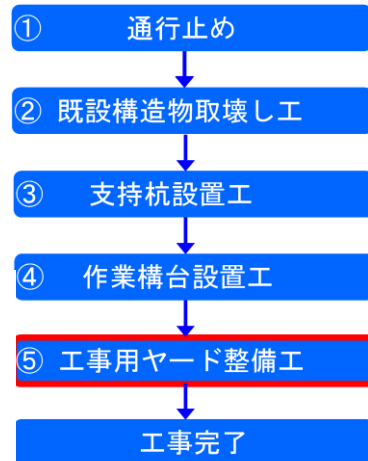
工事用ヤード整備工

作業構台(橙色)にアスファルト舗装(青色)を擦り付け、作業構台に車両が乗入れられるようにします。

使用機械写真
ローラー



使用機械写真
アスファルトフィニッシャー



3
回
繰
り
返
し

工事工程表

工 程 表		令和4年											
工 種		4月			5月			6月			7月		
準 備													
土 工													
護岸・河床撤去復旧工													
作業構台整備工													
工事用ヤード整備工													
片付け													

家屋調査

現場着手

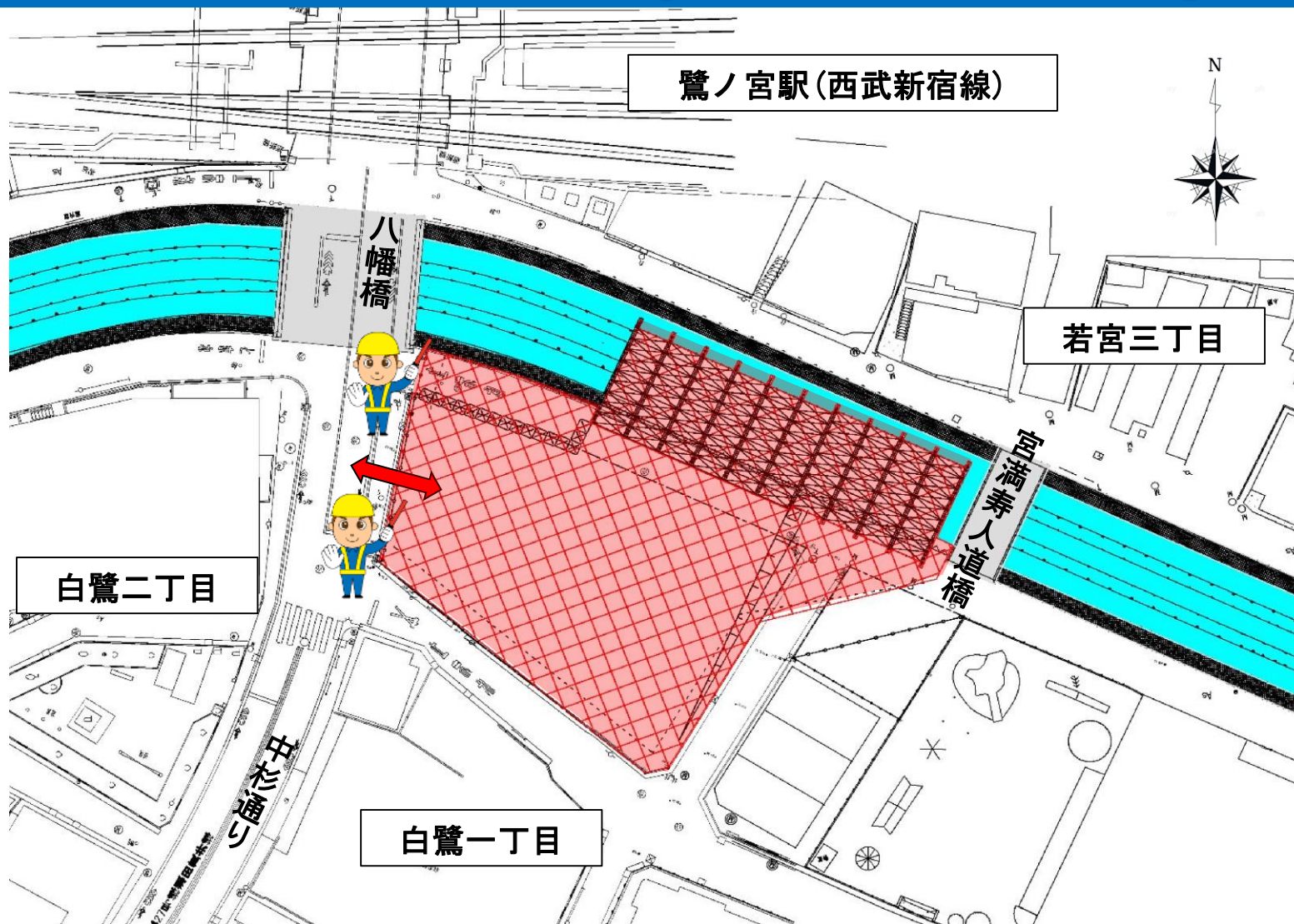
※工事の進捗、天候等により工程が変更となる場合があります。

安全対策について

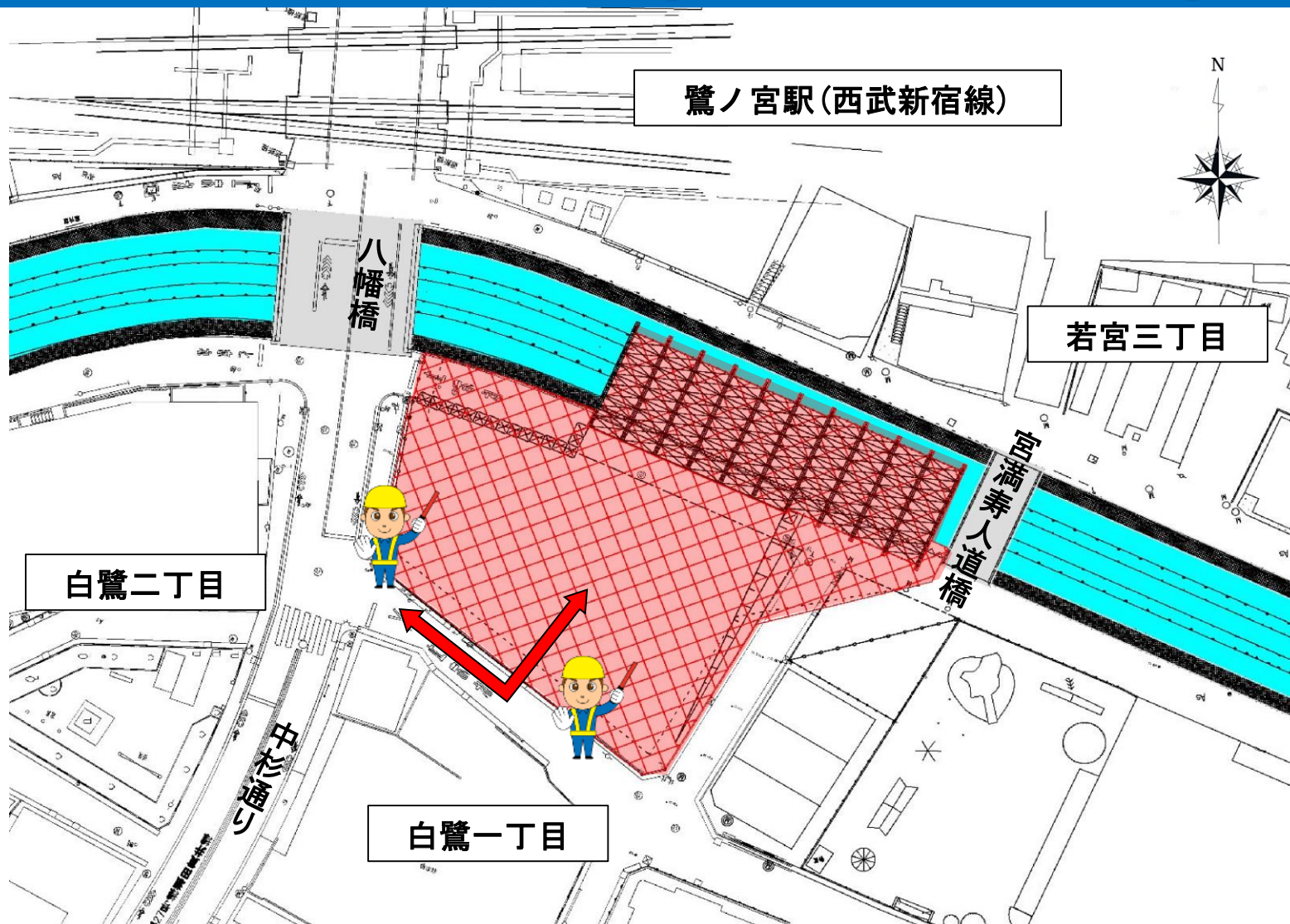
本工事の施工に当たり、下記の安全対策を実施し、周辺の皆様、歩行者、一般車両に対する安全を確保しながら工事を実施します。

- 工事用車両による資材等の輸送については、あらかじめ輸送経路、輸送機関、輸送方法などについて計画をたて事故防止に努めます。
- 工事用車両の公道への駐停車が無いよう、資機材納入業者等に周知徹底します。
- 工事用車両の出入り口等には、交通誘導員を配置し、歩行者や一般車両に対して適切に誘導します。
- 保安施設については、日々点検を実施し、不備があった場合はただちに是正します。
- 歩行者用仮設通路の仮囲い・ゲートは強風等で転倒しない様、確実に固定をします。

交通誘導員配置図(搬出入口1使用時)



交通誘導員配置図(搬出入口2使用時)



環境対策について

本工事の施工に当たっては、地域の生活環境の保全を図るよう努めます。特に以下の事項に留意しながら工事を行います。

- 本工事に使用する建設機械については、低騒音・低振動型建設機械、排出ガス対策型建設機械を使用します。



排出ガス対策型建設機械



低騒音型建設機械



超低騒音型建設機械

環境対策について

- 振動・騒音計にて現場の振動・騒音を測定し、基準値を超えない様注意しながら施工します。

基準値

振動 70デシベル

騒音 80デシベル



- 現場内での工事用車両の走行は、時速10km/h以下の運転を徹底し、振動・騒音の軽減に努めます。また、必要に応じて散水を行い、周辺へのほこり等の飛散を防止するように努めます。

現場関係者一同、早期完了を目指し、
安全第一で施工します。

皆様方のご協力をお願いします。

ありがとうございました。

大豊建設株式会社

工事に伴う家屋調査

家屋調査とは

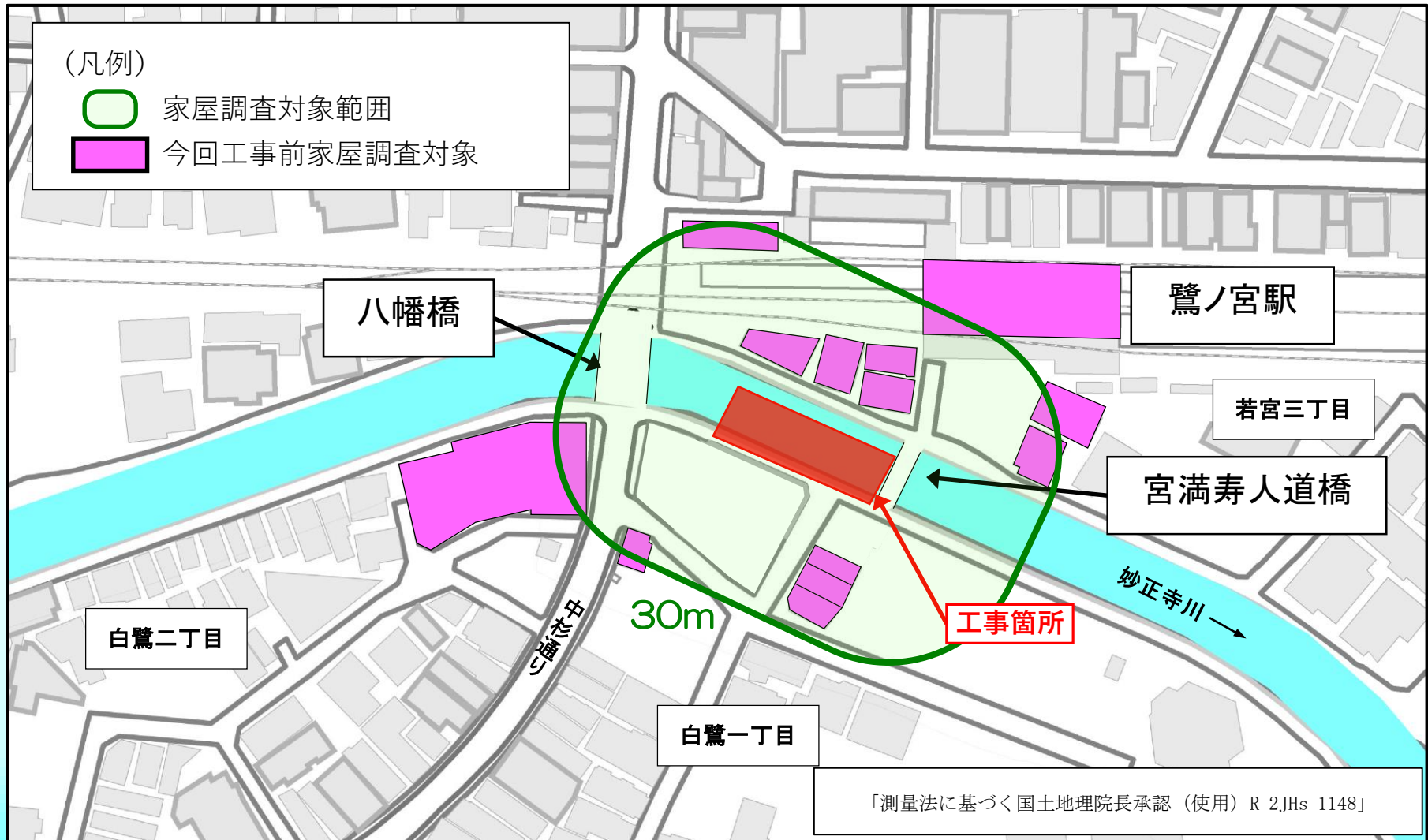
工事による近隣家屋への影響の有無について、
正確に判断する資料を得るため、
工事の着手前と完了後に家屋及び屋外の工作物を
調査するものです。

⇒着手前と完了後の家屋内外の状態を比較し、
工事が原因で被害が生じたことが確認された場合、
家屋復旧調査を行った後、金銭にて賠償します。

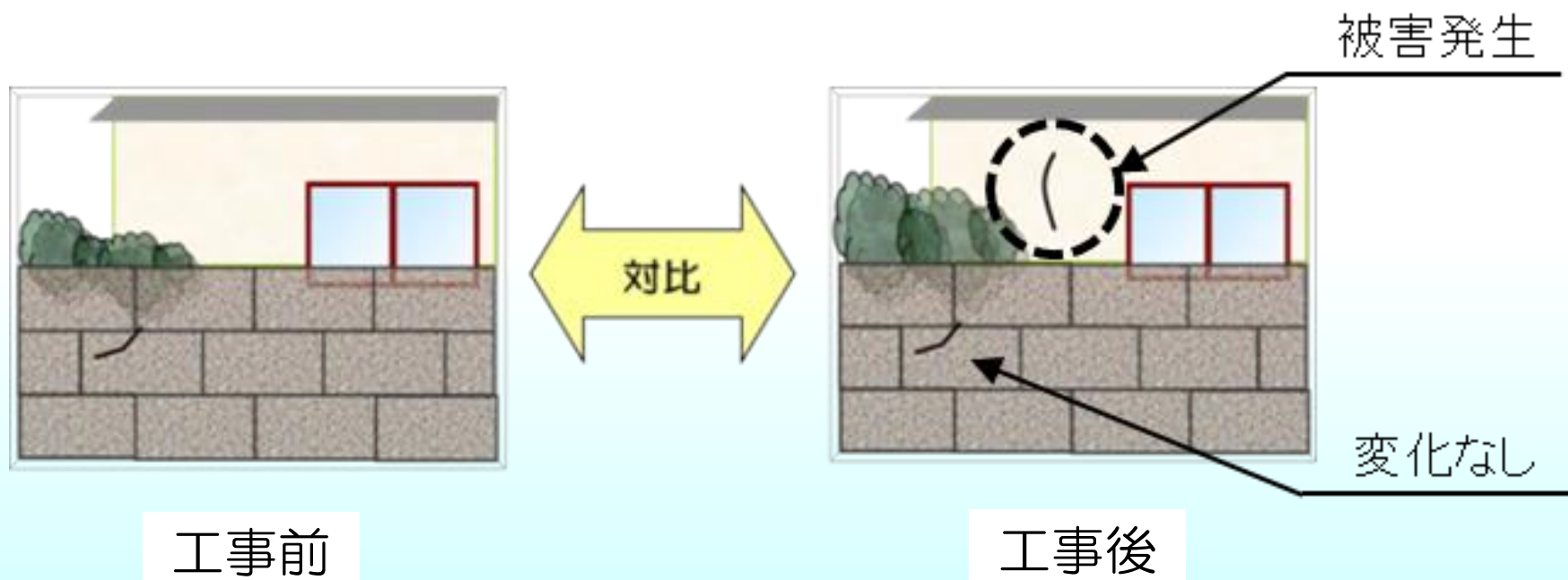
◆家屋への影響が想定される工事内容（例）

- ・ 既設護岸取り壊し、鋼管杭圧入時の振動など

家屋調査対象範囲



家屋損害の賠償

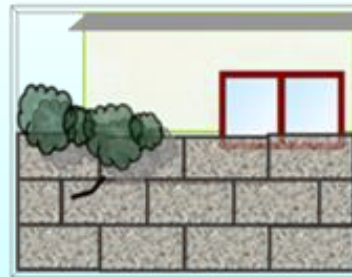
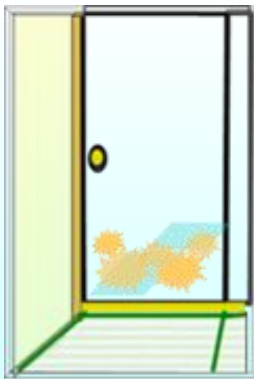


※工事前と工事後の家屋内外の状態を比較し、
被害が発生したことが確認された箇所について、金銭で賠償します。

家屋調査の内容等

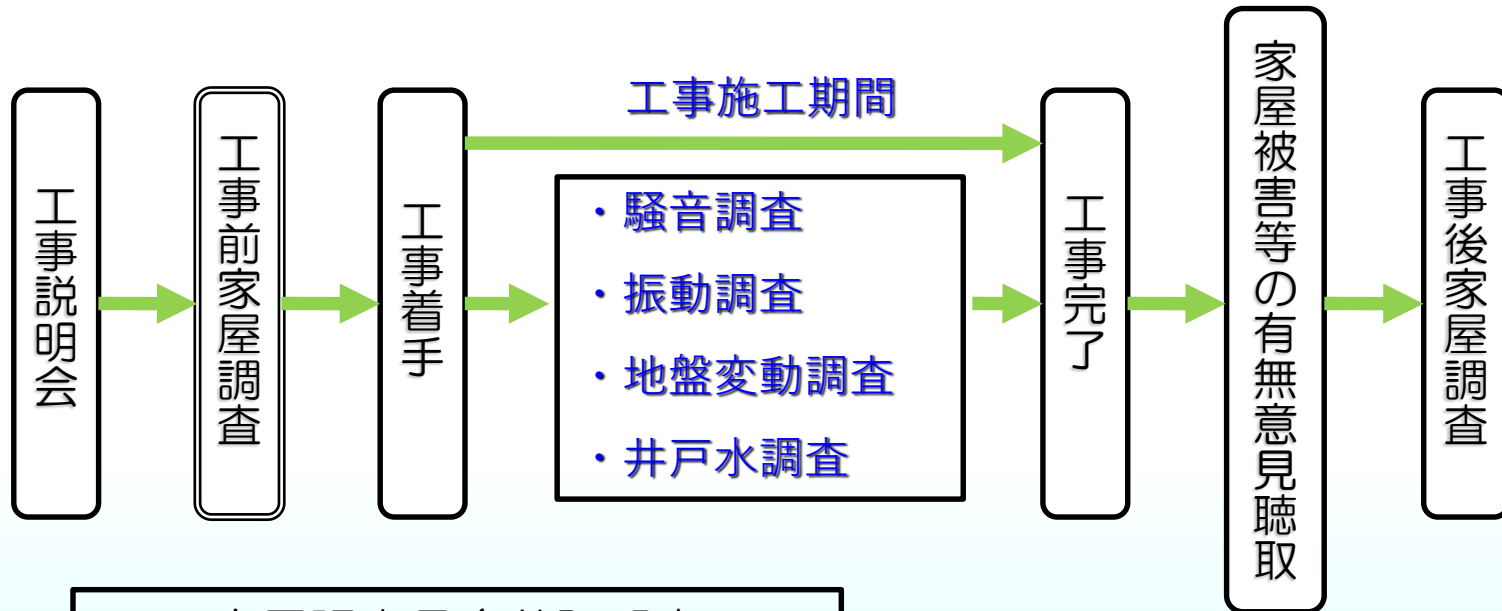
調査会社 東洋技建 株式会社

調査内容 屋内：柱や床の傾斜測定
壁や建具等の状態把握（写真撮影含む）
屋外：壁や塀等の傾斜測定
土間や扉等の状態把握（写真撮影含む）



※調査の際には、皆様方のお立会いをお願いいたします。
※調査期間は5月中旬～6月初旬を予定しています。
※撮影した写真を含む個人情報 は 厳重に管理いたします。

家屋調査手順



家屋調査員身分証明書

表	裏
03三建工二身第〇〇号 身分証明書 顔写真 氏名 _____ 年 月 日生 勤務先 東洋技建株式会社 住所 _____ 上記の者は東京都施行の下記委託に従事する者であることを証明する。 記 1. 件名 妙正寺川整備工事に伴う搬入路整備工事(八幡橋下流) 2. 委託場所 中野区若宮三丁目地内から同区白鷺一丁目地内まで 3. 委託期間 自 令和 4 年 5 月 11 日 至 令和 4 年 8 月 10 日 令和 年 月 日 東京都第三建設事務所長 公印	注 意 1. この証明書は、標記 委託 に従事する場合には、必ず携帯し、関係人に請求があったときは、いつでも提示しなければならない。 2. この証明書の記載事項は訂正しない。訂正したものは無効とする。 3. この証明書は、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。 4. この証明書を紛失したときは、すみやかに東京都第三建設事務所長へ届け出なければならない。 5. この証明書の有効期間は、委託期間とし、有効期間を経過したときは、すみやかに東京都第三建設事務所長へ返還しなければならない。

腕章



家屋損害賠償の手順

工事後家屋調査 実施（専門調査会社への委託）



工事後家屋調査 結果取りまとめ



工事による家屋被害の認定



家屋復旧調査



賠償額提示



交渉・賠償額のお支払い（金銭による賠償）

はじめに

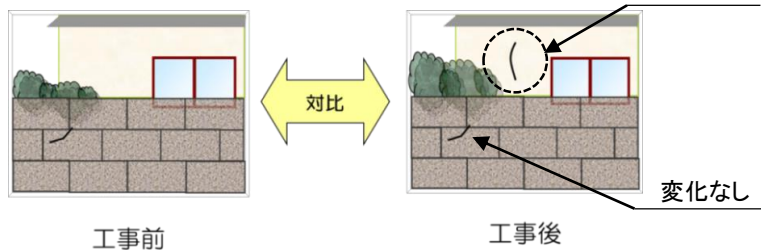
日頃より妙正寺川整備事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。工事は、近隣家屋へ影響を及ぼさないように十分留意して進めて参ります。ここでは、工事に伴う家屋調査と損傷があった場合の損害賠償についてご案内させていただきます。

家屋調査とは

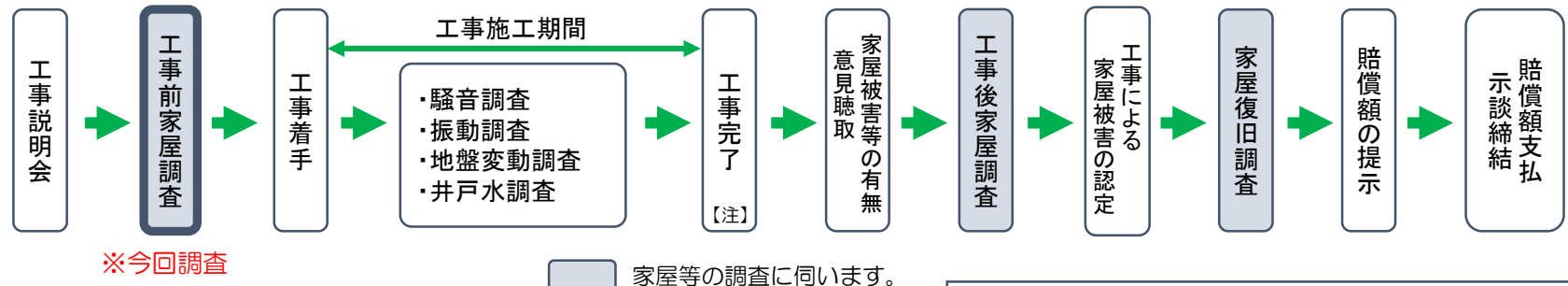
工事による近隣家屋への影響の有無について、正確に判断する資料を得るため、工事の着手前と完了後に家屋及び屋外の工作物を調査するものです。着手前と完了後の家屋内外の状態を比較し、工事が原因で被害が生じたことが確認された場合、家屋復旧調査を行った後、金銭にて賠償いたします。

【家屋への影響が想定される工事内容】

(例) 既設護岸取り壊し、鋼管杭圧入時の振動など



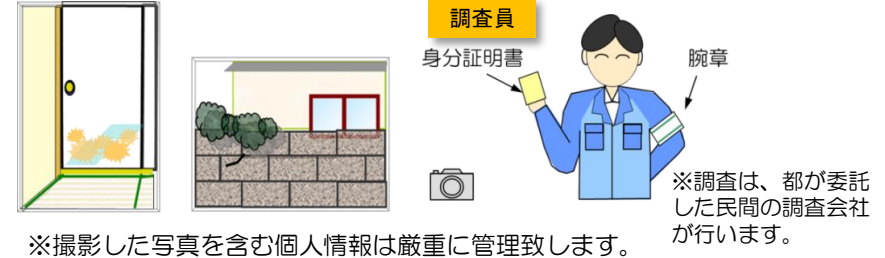
家屋調査・家屋損害賠償の標準的な流れについて



【注】工事の影響が複数の工事にまたがる場合には、影響する全ての工事が完了した時点となります。

家屋調査の内容

屋内：柱や床の傾斜測定、壁や建具等の状態把握（写真撮影含む）
屋外：壁や塀等の傾斜測定、土間や扉等の状態把握（写真撮影含む）



※撮影した写真を含む個人情報は厳重に管理致します。

注意事項

- ① 調査を辞退された箇所は、損傷と工事の因果関係を立証することが出来なくなるため、ご自身で因果関係を証明して頂かない限り、賠償することができません。
- ② 工事前家屋調査～家屋復旧調査の間に家屋等の補修・外壁の塗装などを行う際には、事前にご連絡ください。確認が出来ないまま家屋の補修等が実施され、損傷と工事の因果関係を立証できなくなった場合には、賠償することができません。
- ③ 家屋損害賠償は、金銭による賠償となります。また、損害賠償額は、被害を認定した時点の単価を用いて統一した基準により算定します。

【問合せ先】東京都第三建設事務所 工事第二課

工事に関すること 妙正寺川事業センター(03)3228-1419

家屋調査と損害賠償に関すること 工事担当(03)3387-2103

渉外担当(03)3387-2104

問い合わせ先

★妙正寺川整備工事全般に関すること

東京都第三建設事務所 工事第二課 設計総括担当

⇒電話 03-3387-5367

★妙正寺川整備工事に伴う搬入路整備工事（八幡橋下流）に関すること

東京都第三建設事務所 妙正寺川事業センター

⇒電話 03-3228-1419

★妙正寺川整備工事に伴う搬入路整備工事（八幡橋下流）の

内容や施工方法等の詳細に関すること

受注者：大豊建設株式会社 妙正寺川作業所

⇒電話 03-5356-7305

ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解・ご協力お願い致します。